

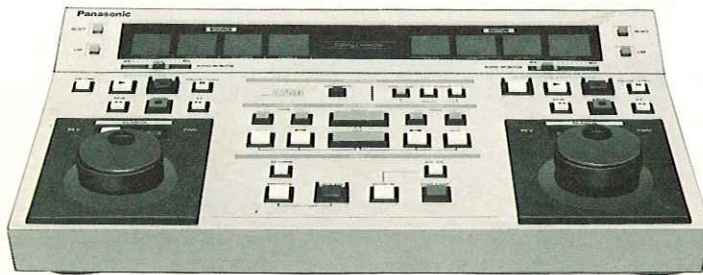
Panasonic

エディテイングコントローラ

品番 AG-**A750**

取扱説明書

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
そのあと大切に保管し、わからないとき再読してください。



保証書別添

保証書は必ず「購入店・購入日」等の
記入を確かめて、購入店よりお受取
りください。

製造番号は品質管理上重要なものです。お買上げの際は、
製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。

このたびは
エディティングコントローラ
AG-A750を
お求めいただきまして
まことにありがとうございました。

アフターサービスについて

1. 保証書—内容のご確認と保存のお願い
必ず「購入店名・保証期間」をご確認のうえ、購入店からお受取りいただき、よくお読みのうえ、大切に保存してください。
2. 保証期間—1 年
正常なご使用状態で、保証期間内に万一故障を生じた場合には、保証書記載事項に基づき購入店で「無料修理」いたします。
3. 修理を依頼される前に
この取扱説明書をよくお読みのうえ、再度点検していただき、なお異常のあるときは、保証書をお示しのうえ購入店にお申し出ください。
4. その他ご贈答・ご転居等の場合などご不明な点は購入店にご相談ください。

目次

概要	3
特長	3
使用上のご注意	4
編集システムの組みあわせかたⅠ(基本)	5
各部の名称とはたらき	6~8
編集についての説明	9
テープ対テープ編集	10
●準備	11~12
●編集モード	13
●編集点の設定	14
●編集点の登録	15
●編集点の確認、リターン、ゴーツー、の各操作	16
●編集点の修正	17
●プレビュー操作	18
●編集の実行	19
編集開始点を見つけると、 ただちに編集するときは	20
スプリット編集	20
レビュー	21
手動編集	21
ビデオカメラ編集	22
編集の組みあわせかたⅡ(別売品を使って)	23
●接続	24~25
●ソース機を2台または3台の中から選ぶ場合	26
●ソース機2台または3台の同時スタート	27
操作ボタン/スイッチの補足説明	28
●機種切換スイッチについて	28
●増設ソース端子について	28
カウンタリセットについて	28
●音声モニタについて	28
●ON LINE(オンライン)ボタンについて	29
●ラップタイムボタンについて	29
●プリロール時間について	29
●トリガー出力について	29
故障かな?と思う前に…ちょっと!	30
定 格	31

概要

本機は、**VHS** ビデオレコーダAG-7500との編集システム用に開発されたエディティングコントローラAG-A750です。

編集に必要な機能は内蔵、さらに、編集の前のリハーサル、編集後のレビューも簡単に操作できて便利になりました。また別売り機器を利用しますと、編集を幅広く楽しんでいただけます。

特長

1. 編集点の設定

編集点の設定は、モニターテレビの画像を見ながらジョグ、シャトル機能で簡単に行なうことができます。サーチダイヤルで正方向再生(送り)あるいは逆方向再生(戻し)の両方向にテープを走行させ、再生速度は静止画～通常再生の約10倍の範囲までの設定ができます。

2. トリミング機能

トリミング機能で、登録後の編集点は再度登録しなくても簡単に変更できます。

3. 操作性

ロジック回路の操作で、操作ボタンは軽いソフトタッチで操作できます。

4. 操作手順の誤りは音で確認

編集の手続きを誤った場合には、“ピー”という音で知らせます。

5. 編集操作案内表示

編集の操作はランプの点滅、点灯により案内します。

6. LEDフレームカウンタ

テープに記録したコントロール信号を時・分・秒・フレーム単位で読取り、カウンタディスプレイに表示します。

7. 編集モードが自由に選べる

アッセンブル編集・インサート編集はもちろんのこと、インサート編集の場合、音声CH1・音声CH2・映像の3つの組み合わせで多様な編集が行なえます。

8. プレビュー編集

登録した編集点がどのように記録されるか、テープ上に記録することなく編集の確認ができます。

9. トリガー出力

テープレコーダや、オーディオプレーヤ等のライン入力を編集する場合、編集開始点前でトリガー信号を出し、自動的にライン入力をスタートさせることができます。

10. 編集後のレビュー操作

編集開始点の3秒前より編集終了点の0.5秒後まで、編集したテープの再生が行なえます。再生が終了した後テープは編集終了点まで自動的に戻り、次の編集に対してスタンバイ状態となります。

11. プリロール時間の設定

プリロール時間は3秒、5秒、7秒に各々設定できます。

12. ラップタイム

- 登録された編集の開始点と終了点の間のラップタイムを表示します。
- 登録された編集の開始点からのラップタイムを表示します。

13. 音声モニタ

ソース機、エディタ機とも音声モニタのレベル調整ができます。

14. カメラ編集

ビデオカメラを接続すれば、カメラの映像・音声をテープに記録し、幅広い編集が行なえます。

15. 接続システム

基本システム(AG-7500との接続システム)のほかにVHSビデオ(AG-6300、AG-6500、NV-8500)や、 $\frac{3}{4}$ "ビデオ(AU-700、NV-9600、NV-9240)との接続システムが可能です。

※AG-6300、NV-9240はソース機専用になります。

16. オンライン接続

マルチソーススイッチャNV-J500(別売り品)、リモートサーチコントローラNV-A505(別売り品)を使うと、最大3台のソース機を同時に接続できます。

使用上のご注意

エディティングコントローラ(AG-A750)とビデオカセットレコーダを接続して編集する場合、次のことに注意してください。

■AG-7500またはAG-6500のビデオと接続して編集するときはビデオのCONTROLスイッチを「REMOTE」側にしてください。

「LOCAL」側のときは本機では操作できません。

■AG-7500またはAG-6500以外のビデオと接続して編集するときは、ビデオ側は必要な操作以外は使用しないでください。

■ビデオレコーダのPOWERスイッチを「OFF」側にしたり、停電があったときは、もう一度始めから、編集操作を行なってください。

■振動

振動の多い場所での使用は避けてください。

■温度

極端に暑いところ、極端に寒いところ、直射日光の当たるところでのご使用は性能を悪くする恐れがありますので、絶対に避けてください。

■湿度

電気製品は、一般に湿気をきらいます。湿気の多い場所、雨が吹き込むような場所は避けてください。

■お手入れについて

キャビネットの清掃はやわらかい布で行なってください。汚れがひどいときは台所用洗剤を薄め、布に浸して固く絞り、汚れをふきとったのち、乾いた布で仕上げをしてください。またシンナーやベンジンはご使用にならないでください。

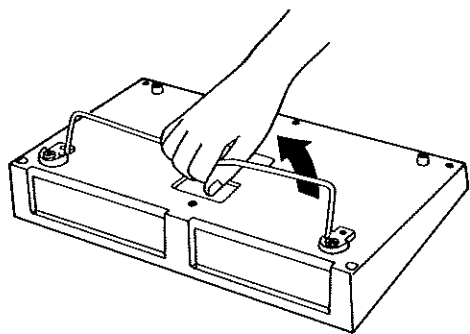
(設置条件)

1. 本機の通風をよくするために、壁等から後面は15cm以上、側面は5cm以上離してください。

2. 本機を故障なくお使いいただくために上面に物をのせないでください。

3. 本機を台上でご使用のときは、堅牢な台をお使いください。

操作しやすいように



本機を操作する場合、次のように底面の脚を外へ出すと操作しやすくなります。

※取扱いはていねいをお願いします。

■万一、異常があるときは

直ちに接続した機器の電源スイッチを「切」にし電源プラグを持ってコンセントから抜いた後、お求めの購入店にご連絡ください。そのままご使用になりますと故障の範囲を大きくしたり、思わぬ事故の原因になる恐れがありますからご注意ください。

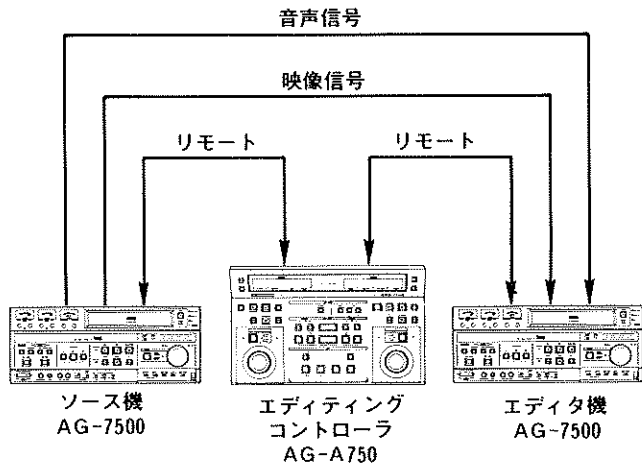
■本機の保管について

1. 極端に温度の高い場所、低い場所では保管しないでください。
2. 屋外に放置することは絶対に避けてください。

編集システムの組みあわせかたI (基本)

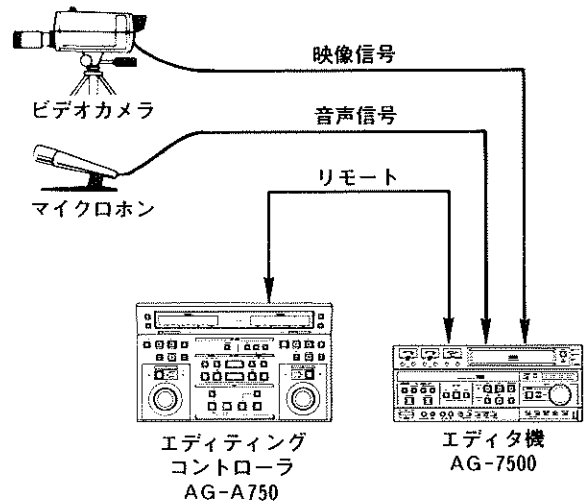
テープ対テープ編集

ソース機1台とエディタ機1台とエディティングコントローラAG-A750を組みあわせて、ソース機とエディタ機との間でダビング編集する基本システムです。



カメラ編集

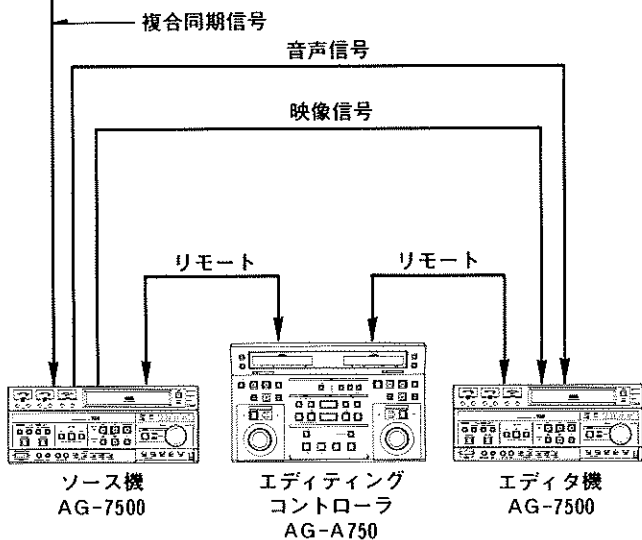
ビデオカメラからの映像信号をエディタ機に編集する基本システムです。



外部同期をかける場合

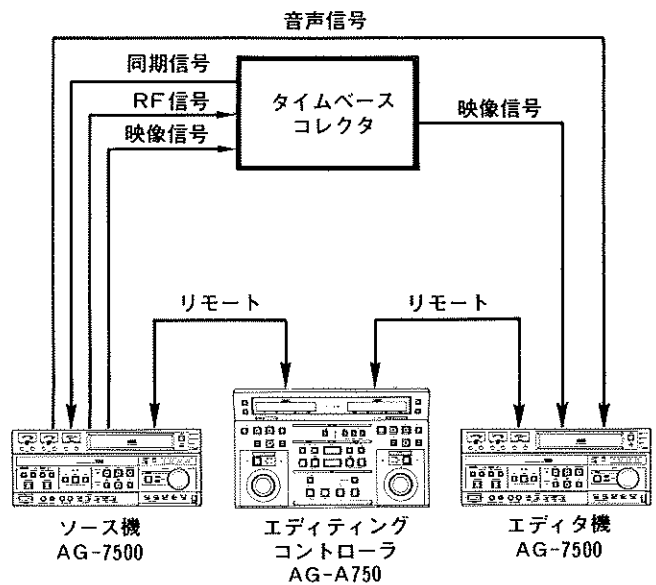
システム全体を外部からの同期信号発生器で同期運転させ、より安定した編集を行なうときには、次のようにシステムを組んでください。

同期信号発生器



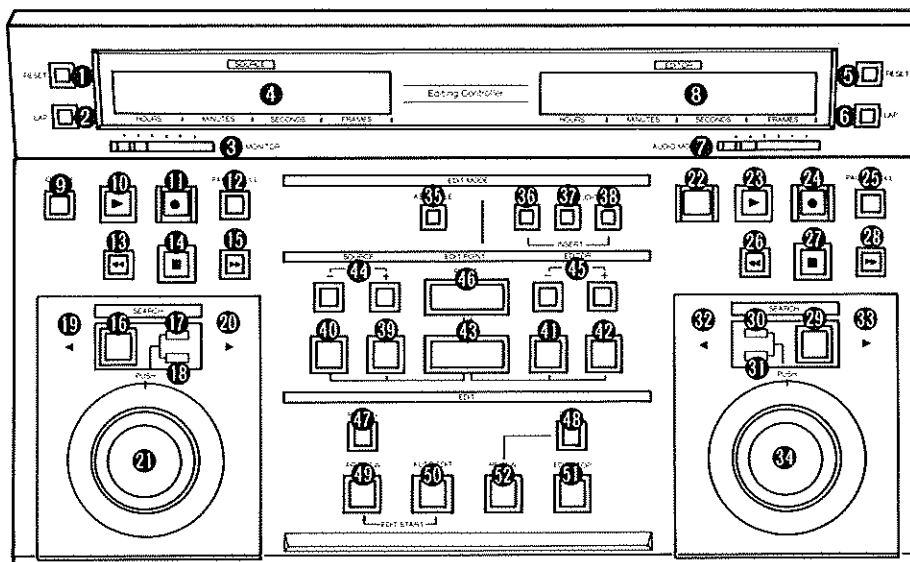
タイムベースコレクタを使用する場合

ジッターの少ない編集画像を希望するときには、次のようにタイムベースコレクタを使って、システムを組んでください。同期信号は必要な場合のみ接続してください。



AG-7500以外の接続できる機種の説明は28ページの機種切替スイッチの項目をよくお読みください。ただし、NV-9240、AG-6300はエディタ機には使用できません。

各部の名称とはたらき



カウンタ部

- ①⑤ RESET (リセット) ボタン**
 カウンタディスプレイの表示をリセット(0)にするときに押します。
- ②⑥ LAP (ラップ) ボタン**
- 編集動作前は、このボタンを押している間、次の表示がカウンタに出ます。
 1. 登録された編集開始点と編集終了点のラップタイム
 2. 登録された編集開始点からのラップタイム
 - 編集動作中は、このボタンを押すと編集開始点からのラップタイムがカウンタに出ます。(再度押せばもとに戻ります。)

編集終了点になれば、カウンタは自動的に現在のテープ位置に切りかわります。
- ③⑦ AUDIO MONITORボリューム**
 AUDIO MONITOR端子に入力している音声の音量コントロールボリュームです。
- ④⑧ カウンタディスプレイ**
 カウンタディスプレイは次の表示を行ないます。
- リセット点からのテープ位置
 - ラップタイム
 - 編集の開始点または終了点
- ※ **0 00 00 00** 点を越えてテープを巻戻しますと、カウンタはマイナス(-)表示になります。

コントロール部

- ⑨ ON LINE (オンライン) ボタン**
 本機のソース機接続端子に接続したビデオレコーダをソース機とし、エディタ機とそれぞれ1台で編集するときにはこのボタンは使用しません。(ランプは点灯したままです)

ソース機2台または3台同時に接続し、編集システムを組みあわせるときはON LINEボタンを押して編集に使うソース機を選びます。
- ⑩⑳ PLAY (再生) ボタン**
 録画したテープを再生するときに使用します。
- ⑪㉑ REC (録画) ボタン**
 PLAYボタンと同時に押すと映像・音声の記録が始まります。
- ⑫㉓ PAUSE/STILL (一時停止/静止) ボタン**
 録画または再生中に押すとテープ走行が一時停止します。再生中のときはモニターテレビに静止画像があらわれます。再度PAUSE/STILLボタンを押すとテープ走行が始まります。
- AG-7500またはAG-6500と接続しているとき、RECとPLAYを同時に押せば一時停止は解除され、録画になります。
 - NV-8500、AG-7500、AG-6500と接続しているとき、PLAYボタンを押すと一時停止は解除され、再生になります。

13 26 REW (巻戻し) ボタン

押すとテープは巻戻しになります。

14 27 STOP (停止) ボタン

押すとテープの走行がとまり、テープはシリンダから離れ、アンローディングします。

15 28 FF (早送り) ボタン

押すとテープは早送りになります。

16 29 SEARCH (サーチ) ボタン

押すとサーチ状態(モード)になります。サーチモードにはジョグ(JOG)とシャトル(SHTL)があります。

17 30 JOG (ジョグ) ランプ

ジョグモードのとき点灯します。

18 31 SHTL (シャトル) ランプ


シャトルモードのとき点灯します。

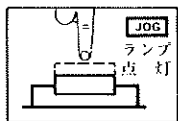
19 32 REV (逆方向) ランプ

20 33 FWD (正方向) ランプ


21 34 サーチダイヤル

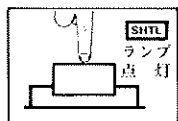
編集点等の必要な映像を探すときに使用します。

● JOG モード ()



JOGランプが点灯すればJOGモードです。ダイヤルの回す速さに応じて静止画像～通常の再生の約1倍速まで再生画像の速度が正方向または逆方向に変化します。

● SHTL モード ()




SHTLランプが点灯すればシャトル(SHTL)モードです。ダイヤルの位置に応じて通常の再生の約10倍速まで、再生画像を正逆の両方向に走行させることができます。

● AG-7500またはAG-6500以外のビデオと接続するときは、14ページの説明をお読みください。

22 EDIT (編集) ボタン

手動で、編集をするときに使用します。

( 21ページ)

35 ASSEMBLE (アッセンブル) ボタン

アッセンブル編集するときに使用します。

36 VIDEO/HD (映像/HD) ボタン

映像とHDサウンドをインサート編集するときに使用します。

37 CH 1 ボタン

CH 1の音声をインサート編集するときに使用します。

38 CH 2 ボタン

CH 2の音声をインサート編集するときに使用します。

39 41 IN (編集開始点) ボタン

編集開始点の登録を行なうときに使用します。

40 42 OUT (編集終了点) ボタン

編集終了点の登録を行なうときに使用します。

43 SET (セット) ボタン

編集点を登録するときに使用します。
INボタンあるいはOUTボタンと同時に押すと編集の開始点または終了点が登録できます。

44 45 TRIM (修正) + / - ボタン

編集点修正用ボタンです。INまたはOUTの各ボタンを押しながら[-]ボタンまたは[+]ボタンを押すと、カウンタは1フレーム戻るか、または進みます。

46 RESET (リセット) ボタン

編集点の登録を取消すときに使用します。

47 RETURN (リターン) ボタン

テープを編集開始点へ戻すときに使用します。

48 GOTO (ゴーツー) ボタン

テープを編集終了点へ送るときに使用します。

49 PREVIEW (プレビュー) ボタン

編集のリハーサルを行なうときに使用します。

50 AUTO EDIT (自動編集) ボタン

自動編集を行なうときに使用します。
PREVIEWボタンと同時に押すと、編集が始まります。

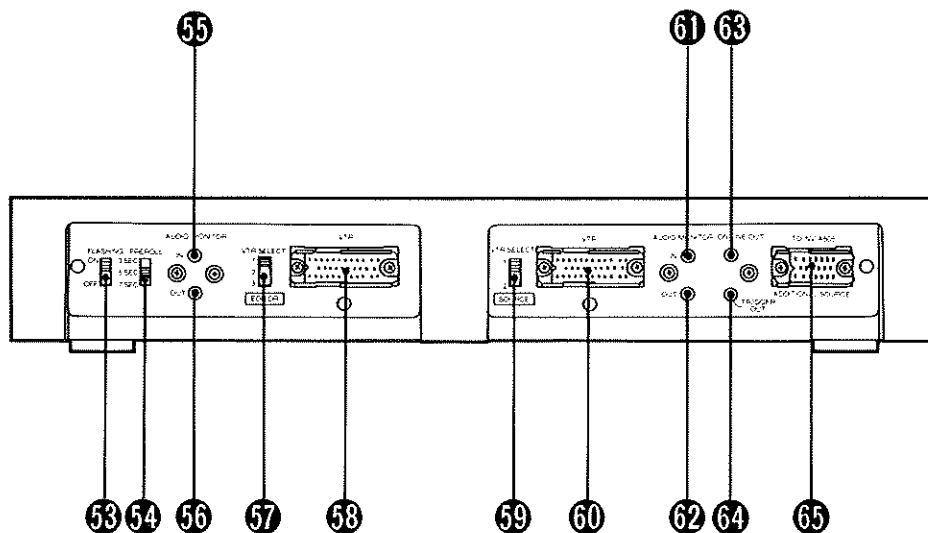
51 EDIT STOP (編集終了) ボタン

編集を終えるときに使用します。
このボタンを押した点が編集終了点として登録され、編集が終了します。

52 REVIEW (レビュー) ボタン

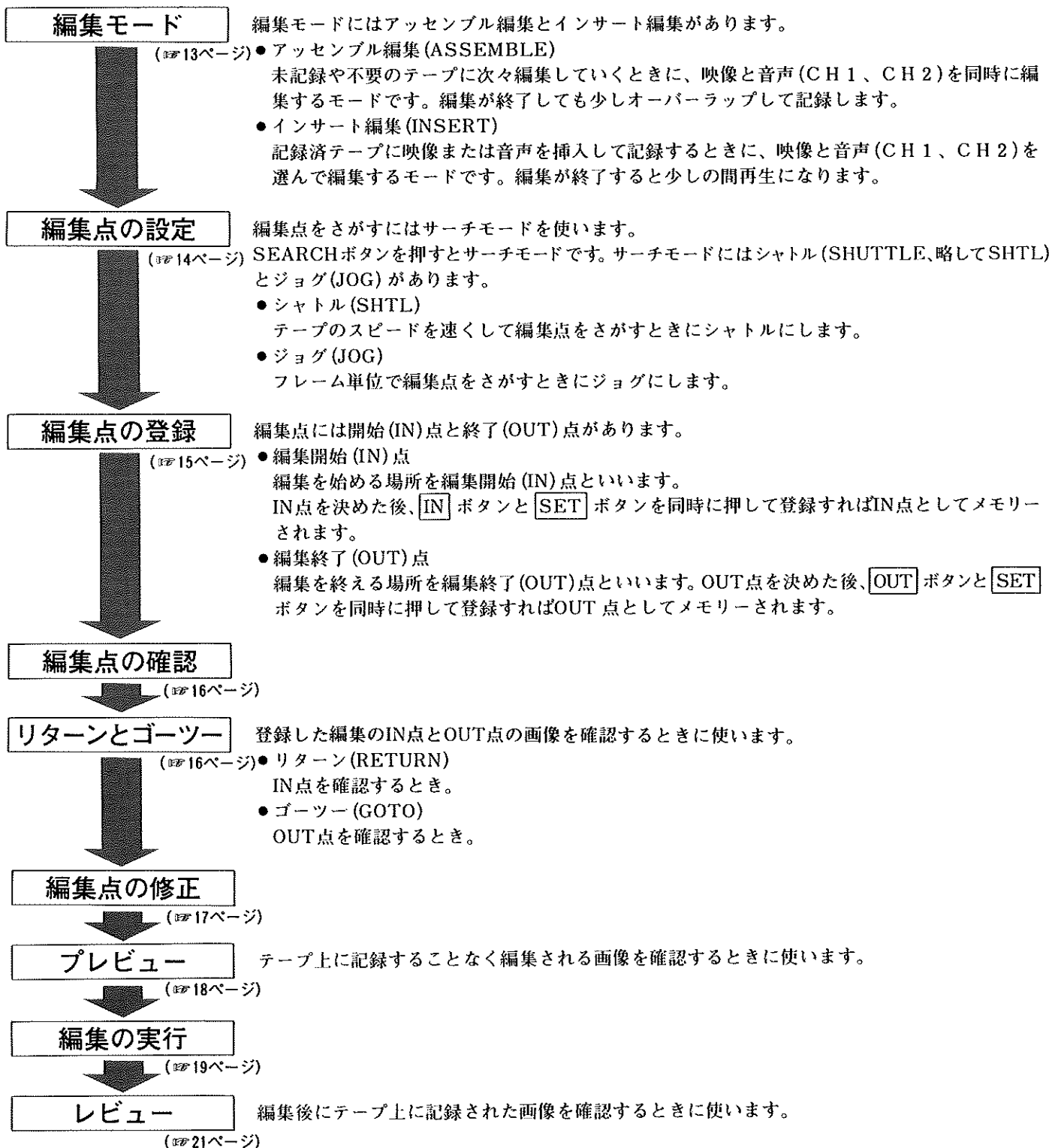
編集終了後、希望通りにテープが編集されているかどうか確認するときに使用します。

接続端子部



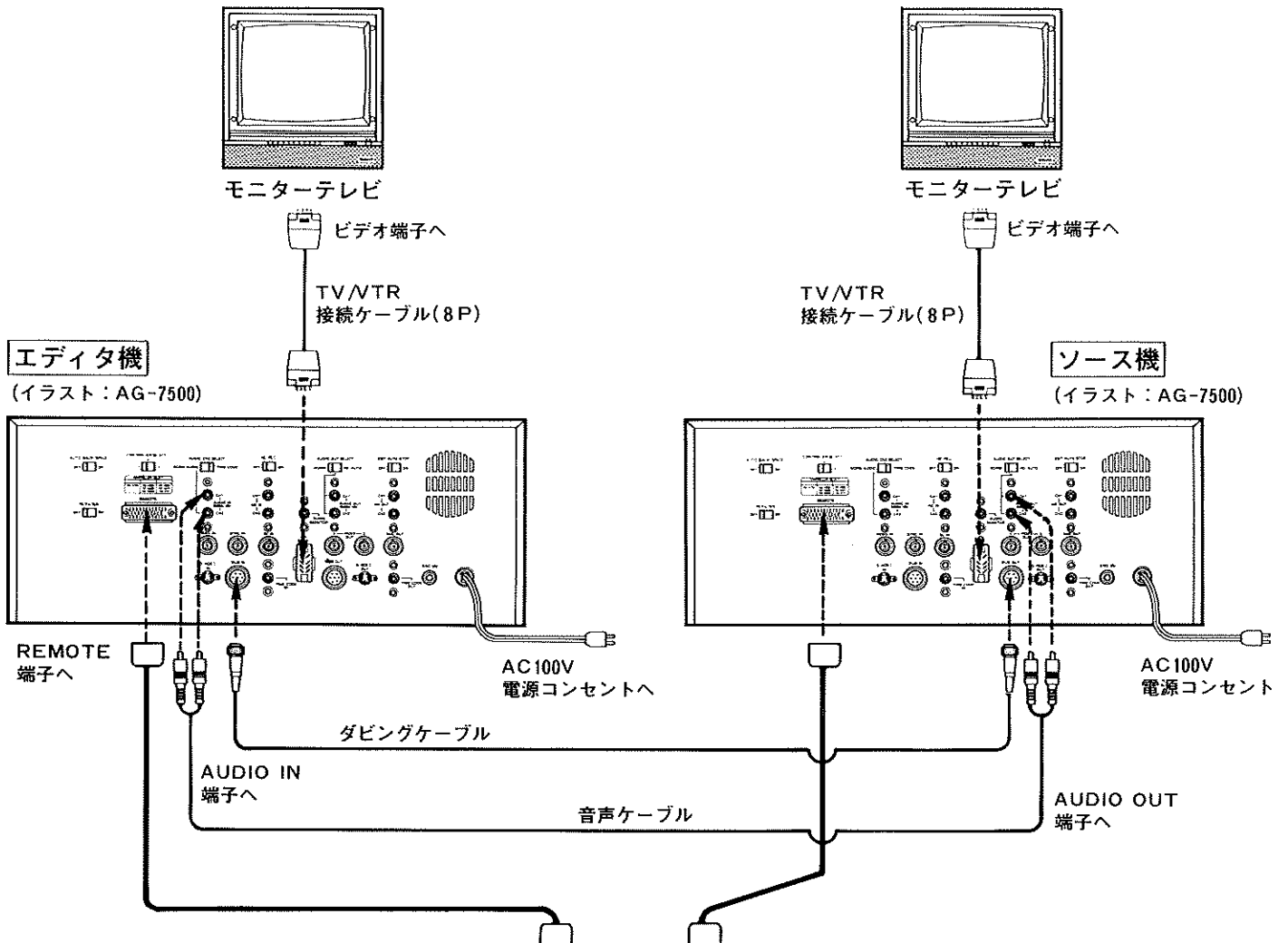
- 53** FLASHINGスイッチ
編集作業の操作順序の案内をランプ点滅で行うときは“ON”側にします。操作順序の案内表示をしないときは“OFF”側にします。
- 54** PREROLL (プリロール時間)スイッチ
ソース機とエディタ機のプリロール時間選択スイッチです。3秒、5秒、7秒に切換えることができます。
- 55** **61** AUDIO MONITOR IN (音声モニタ入力) 端子 (ピンジャック)
本機で音声モニタの音量を調整するとき、ビデオのAUDIO MONITOR OUT端子と接続します。
- 56** **63** AUDIO MONITOR OUT (音声モニタ出力) 端子 (ピンジャック)
モニターテレビやステレオ機器のAUDIO MONITOR IN端子と接続します。
- 57** **69** VTR SELECTスイッチ
接続するビデオによって切換えます。
●NV-9240、AG-6300はエディタ機には使用できません。
- 58** **60** VTR (リモコン) 端子
付属の34Pリモコン接続ケーブルでビデオのREMOTE端子へ接続します。
- 59** **62** ON LINE OUT (オンライン出力) 端子
ソース機を2台または3台同時に接続して編集システムを組みあわせるとき、この端子とマルチソーススイッチャNV-J500 (別売り品)のオンライン入力端子とを接続します。
- 60** TRIGGER OUT
リレー信号やテープレコーダ等を自動的にスタートさせるための端子です。
プリロールが完了し、ビデオレコーダが再生を始めると同時に、約1秒間負極性の信号を出します。
- 65** 増設ソース接続端子
さらにソース機を接続する場合は、別売りのリモートコントローラNV-A 505を使って、リモートサーチコントローラNV-A 505の増設ソース1接続端子とこの端子とを接続します。

編集についての説明



テープ対テープ編集

接続



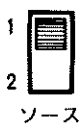
※ソース機にAG-6300を使用するときはBNCコネクタ付ケーブルを使って、ソース機の映像出力端子とエディタ機の映像入力端子とを接続します。

接続するビデオレコーダの機種により切換えます。

プリロール時間を選びます。

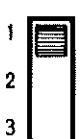
エディティング
コントローラ
AG-A750

VTR SELECT



ソース

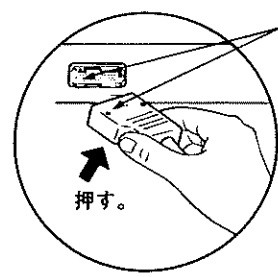
VTR SELECT



エディタ

VTR SELECT		EDITOR	SOURCE
1	1	AG-7500	AG-7500
			AG-6500
			NV-8500
			AG-6300
2	2	AG-6500	AU-700
		NV-8500	NV-9600
3	3	AU-700	NV-9240
		NV-9600	

接続端子に接続するときは



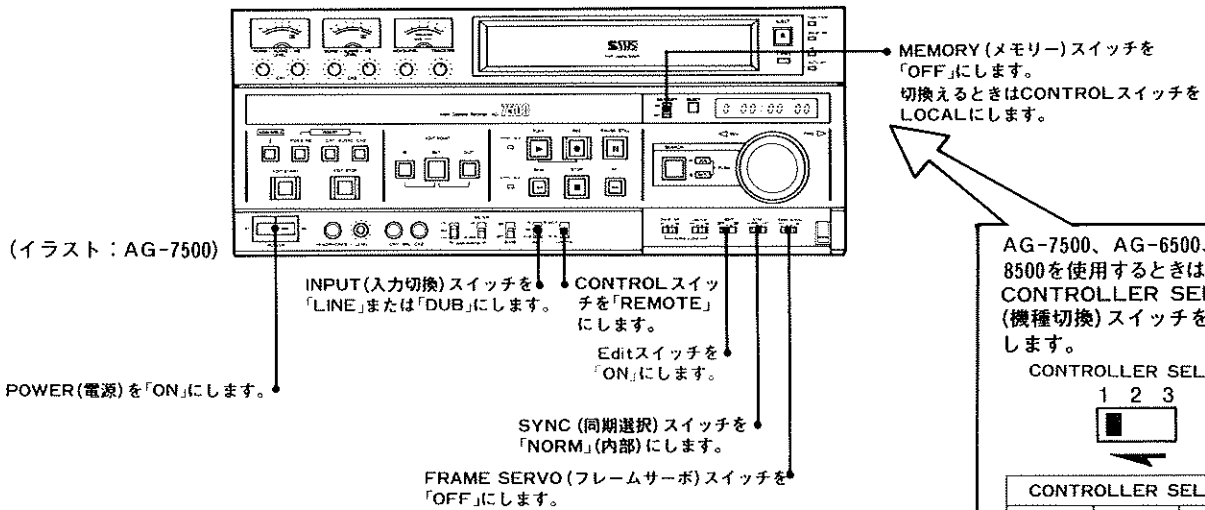
△マークを合わせ、ケーブルコネクタのボタンを押しながら取付け、あるいは取外しをしてください。

接続するときは、ビデオレコーダの電源を必ず「切」にしてください。

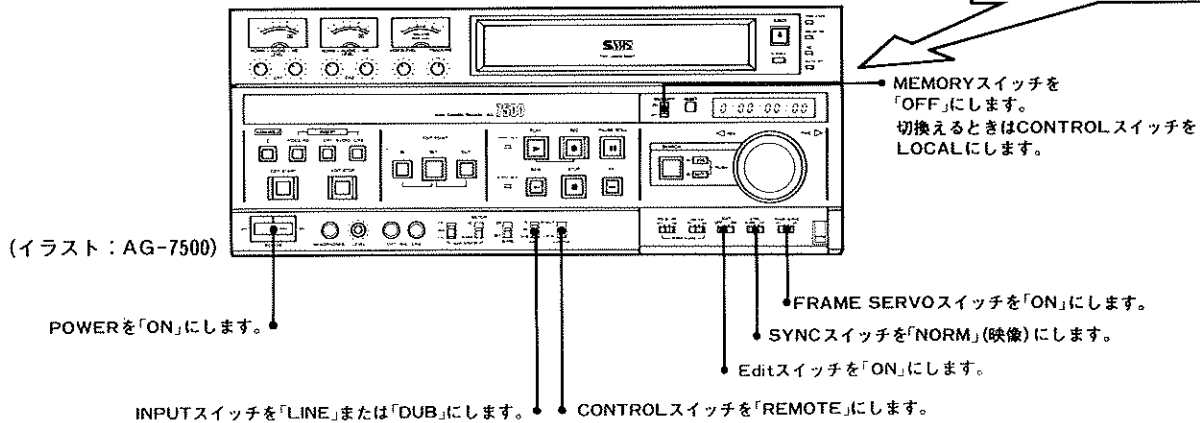
※NV-9240、AG-6300はエディタ機には使用できません。
 ※エディタ側「VTR SELECT」スイッチを「1」にして、AG-7500以外のVTRを使用しますと、編集点が8フレーム、誤差がでますので注意してください。

準備(スイッチの切換え)

ソース機の準備



エディタ機の準備



他のビデオを使用するときは、次のようにスイッチを切換えてください。

※ソース機としてAU-700、NV-9600、NV-9240を使用するとき。

- POWER スイッチを「ON」にします。
- MEMORY スイッチを「OFF」にします。
- FRAME SERVO スイッチを「OFF」にします。
- SYNC スイッチを「INTERNAL」にします。
- CONTROLLER SELECT スイッチを「A70/A960」にします。

※ソース機としてAG-6300を使用するとき。

- 電源スイッチを「入」にします。
- テープメモリースイッチを「切」にします。
- アンテナ切換スイッチを「ビデオ」にします。
- タイマー切換スイッチを「切」にします。
- 映像モード切換スイッチを「自動」にします。
- 裏面パネルの機種切換スイッチを「1」にします。
- 同期選択スイッチを「通常」にします。

※エディタ機としてAU-700、NV-9600を使用するとき。

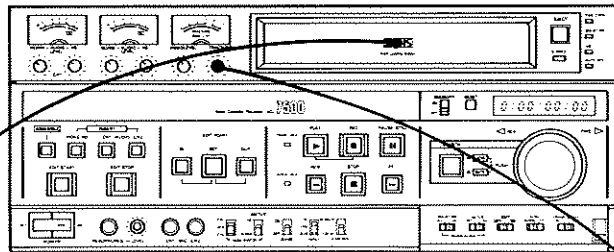
- POWER スイッチを「ON」にします。
- INPUT SELECT スイッチを「DUB」にします。*
- MEMORY スイッチを「OFF」にします。
- FRAME SERVO スイッチを「ON」にします。
- SYNC スイッチを「NORMAL」にします。
- CONTROLLER SELECT スイッチを「A70/A960」にします。

*カメラ編集を行なうときはINPUT SELECT スイッチを「LINE」にします。

- INPUT スイッチについての詳しい説明はビデオの取扱説明書をお読みください。
- AG-6500またはNV-8500のスイッチ切換えはAG-7500のスイッチ切換えを参照してください。(ただし、NV-8500の場合は、CONTROL スイッチを除きます。)

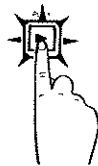
準備

ソース機

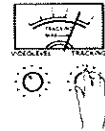


録画済カセットテープを入れます。

ソース機側のPLAYボタンを押して再生画像を確かめます*。



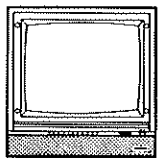
トラッキングの調整をします。TRACKING調整ツマミをまわして、メータの指針が最大(右振れ)になるように調整します。



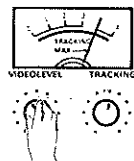
エディタ機

カセットテープを入れます**。

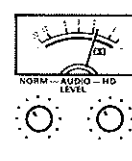
ソース機側が再生状態ですと、エディタ機側に接続したモニターテレビに、ソース機の再生画像があらわれます。



映像の録画レベルを調整します。



音声の記録レベルを調整します。



ソース機とエディタ機を一時停止させます。

トラッキングの調整をします。***



録画済カセットテープに編集するときはエディタ機側のPLAYボタンを押して画像を確かめます。



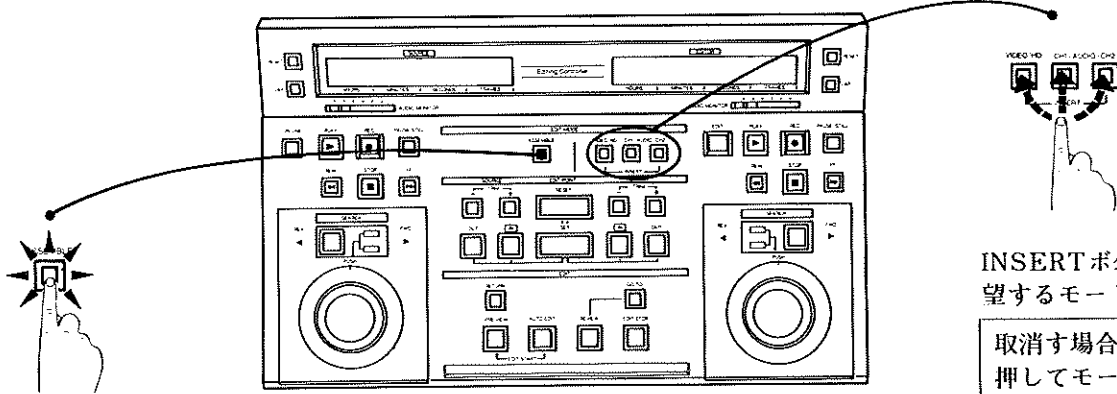
〈ご注意〉

※モニターテレビに正常に色がつかないことがありますが、これは故障ではありません。
 ※※カセットテープのツメまたは赤いボタンがついていることを確かめてください。カセットテープのツメまたは赤いボタンがついていないときは編集できません。

***AU-700、NV-9600をエディタ機として使用するときは、スキューならびに水平位相の調整も行ってください。

編集モードを選びます

- 電源を入るとインサートの各ボタンが点灯します。



INSERT ボタンの間で希望するモードを選びます。

取消す場合はもう一度押し続けてモードを取消してください。

ASSEMBLE ボタンを押しますと

アッセンブル編集になります。
アッセンブル編集はあらかじめ録画されたテープの途中から新しいプログラムを継ぎながら、映像と音声(チャンネル1とチャンネル2)を同時に編集することをいいます。

(例) **A** の画像の次に **B** の映像と音声を記録します。

アッセンブル編集された結果

A **B** になります。

アッセンブル編集はコントロール信号も同時に記録されます。

INSERT ボタンを押しますと

インサート編集になります。
インサート編集はあらかじめ録画されたテープの間に新しいプログラムをそう入することをいいます。インサート編集は映像、音声チャンネル1、音声チャンネル2をそれぞれ選択して編集することができます。

(注) HDサウンドの記録は映像信号と同時に記録されます。以前のHDサウンドを消去せずに映像だけのインサート、また映像を消去せずにHDサウンドだけのインサート編集はできません。

(例) **A** **B** **C** の **B** の映像 (または音声) のかわりに

B' の映像 (または音声) を記録します。

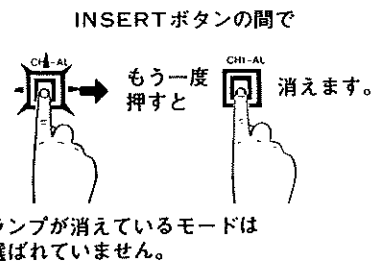
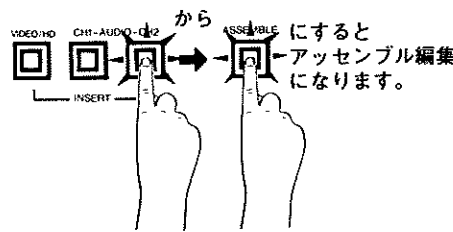
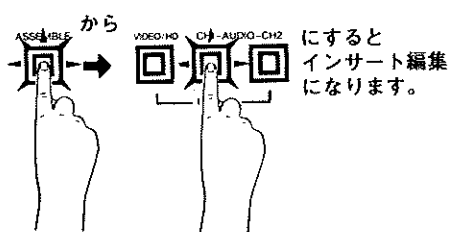
インサート編集された結果

A **B'** **C** になります。

インサート編集は、あらかじめ録画されたテープのコントロール信号を使って録画しますので、必ず録画された部分で行なってください。

編集モードボタンの操作について

- 編集モードが選ばれていないときは、各ボタンは点滅します。



ランプが消えているモードは選ばれていません。

編集点をさがします

ソース機

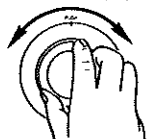
1倍速以上のスピードで編集点をさがすとき、シャトルモードにします。

SEARCHボタンを押します。



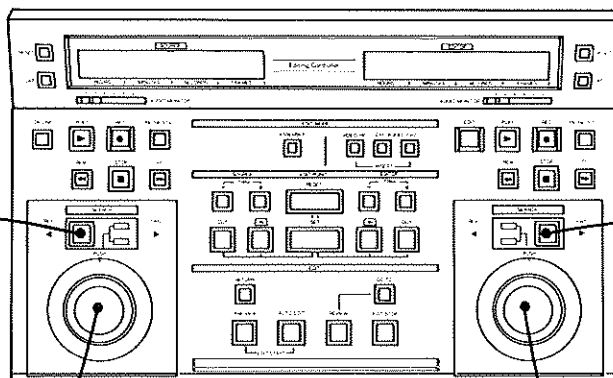
●JOGランプが点灯するときはダイヤルを押してシャトルモードにします。

ダイヤルで編集点をさがし一時停止にします。



編集点が近づいてくるとジョグモードにします。

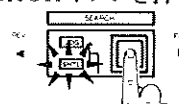
再生画像はダイヤルを回すスピードによって変化します。



エディタ機

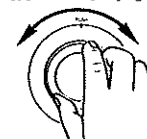
1倍速以上のスピードで編集点をさがすとき、シャトルモードにします。

SEARCHボタンを押します。



●JOGランプが点灯するときはダイヤルを押してシャトルモードにします。

ダイヤルで編集点をさがし一時停止にします。

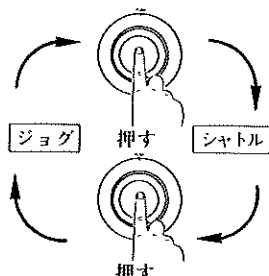


編集点が近づいてくるとジョグモードにします。

再生画像はダイヤルを回すスピードによって変化します。



シャトルモードとジョグモードの切換えはダイヤルを押します。



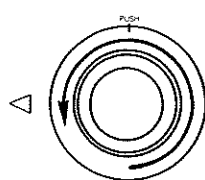
ジョグモードは1倍速まで操作できますので、編集時間が短いときはジョグモードで、長いときはシャトルモードで編集点をさがすと便利です。

ジョグ/シャトルモードについて

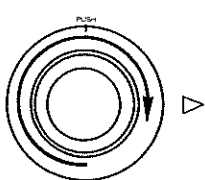
ジョグ(JOG)モード

ダイヤルを押してJOGランプが点灯すればジョグモードです。ジョグはダイヤルの回すスピードで、静止画～約1倍速再生まで変化させることができます。回さなければ常に静止画になります。

逆方向ジョグ



正方向ジョグ



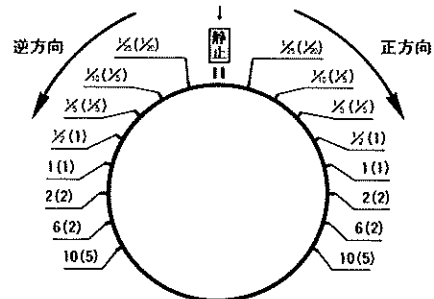
ジョグモードはAG-7500またはAG-6500に接続したときに動作します。

- テープ保護のため、静止状態を約8分間以上続けると、ビデオは自動的に静止から1/2倍正方向スロー再生状態になりますのでご注意ください。
- AU-700接続時、本機からフレームの送り/戻し操作は行なえません。

シャトル(SHTL)モード

ダイヤルを押してSHTLランプが点灯すればシャトルモードです。シャトルはダイヤルの位置によってテープのスピードが変化します。

クリック感があります。



- ※数字は通常再生に対する倍率です。
- ※カッコ内は1/2インチVTRでシャトルするときの倍率です。

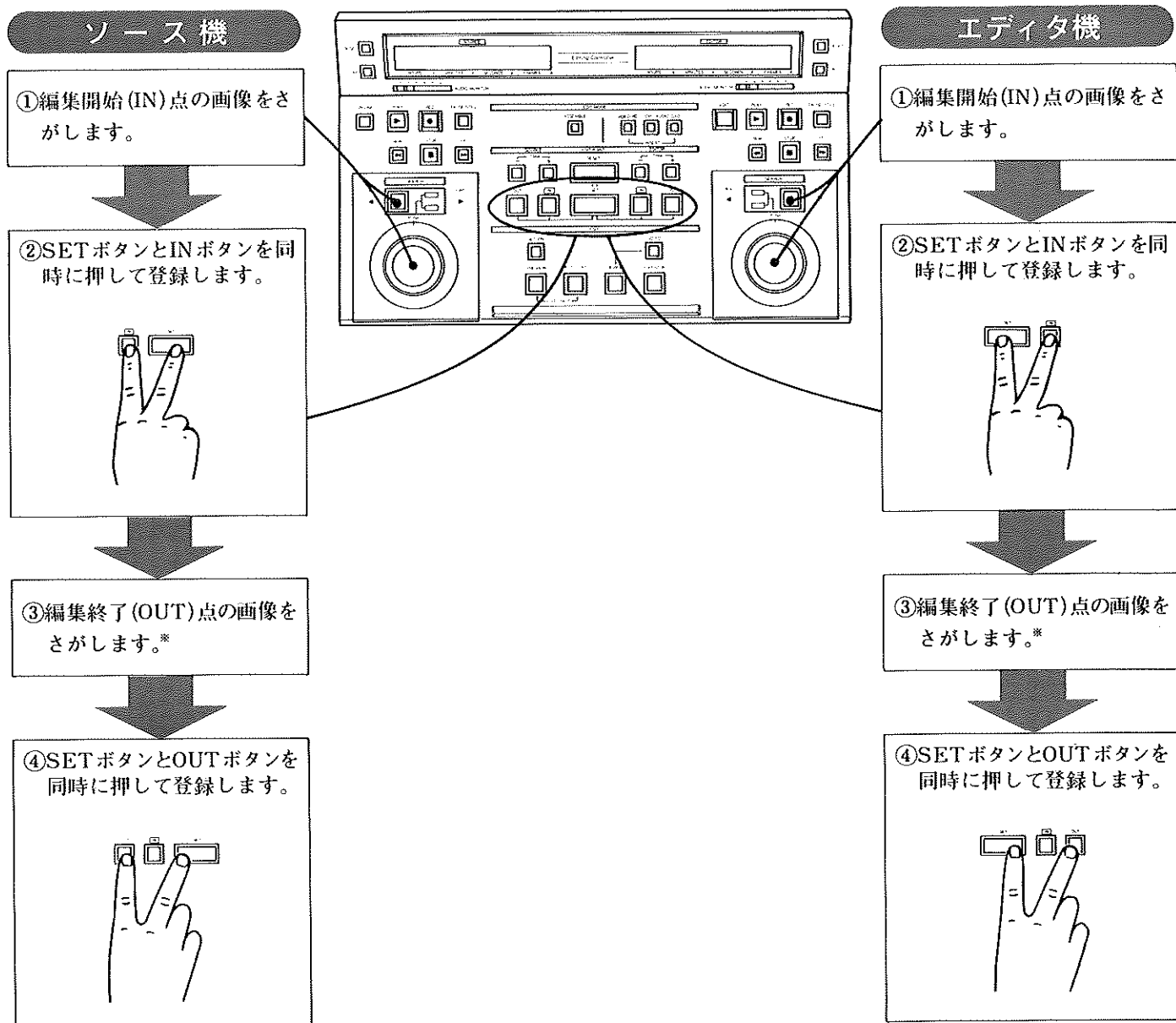
編集する部分を登録します

- FLASHINGスイッチが「ON」側するとき、INボタンが点滅しています。

編集開始(IN)点を登録するとOUTボタンが点滅します。

IN点を2つ登録した後、編集終了(OUT)点を1つ登録すると他のOUT点の登録はできません。(逆に、OUT点を2つ登録し、IN点を1つ登録すれば他のIN点は登録できません。)

※編集終了点を登録するかわりに、編集中にEDIT STOPボタンを押すと、押したところが終了点の登録となり編集が終了します。

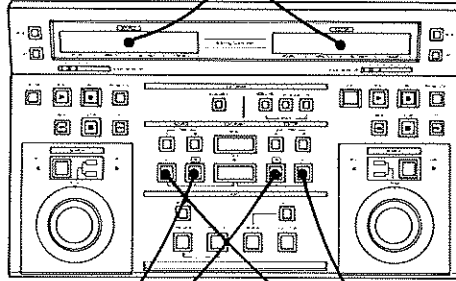


※編集終了点を登録しないとき、編集終了点登録のための操作は必要ありません。

(注) OUT点はIN点よりも後の位置に登録してください。
OUT点がIN点よりも前になると登録時にブザーがなります。

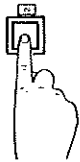
編集点を確認するときは

登録した編集点が表示されます。



編集開始点の確認

INボタンを押します。



〈ご注意〉

INボタンまたはOUTボタンを押しても、カウンタに何も表示されていない場合、編集点は登録されていません。

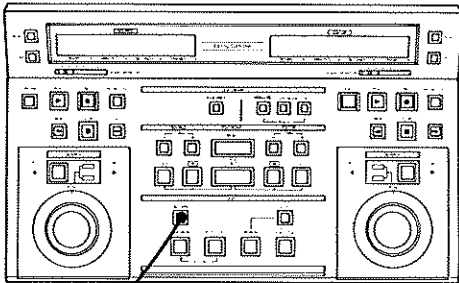
編集終了点の確認

OUTボタンを押します。



リターン操作

テープを編集開始点へ戻す操作です。



RETURNボタンを押します。



操作が終了すると

RETURNランプが消灯します。

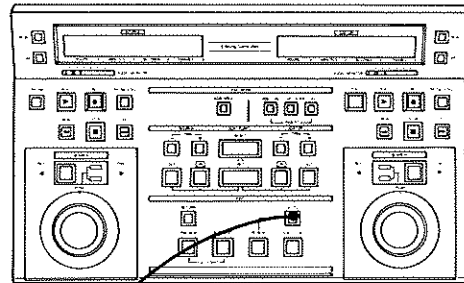


〈ご注意〉

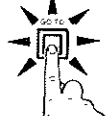
- リターン操作は編集開始点を登録したのちに行なってください。編集開始点を登録しないでRETURNボタンを押しても、動作しません。

ゴーツー操作

テープを編集終了点へ早送りする操作です。



GOTOボタンを押します。



操作が終了すると

GOTOランプが消灯します。



〈ご注意〉

- ゴーツー操作は編集終了点を登録したのちに行なってください。編集終了点を登録しないでGOTOボタンを押しても、動作しません。

編集点を修正するときは

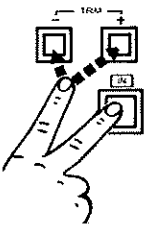
小さい修正

[フレーム単位で修正する場合]

ソース機

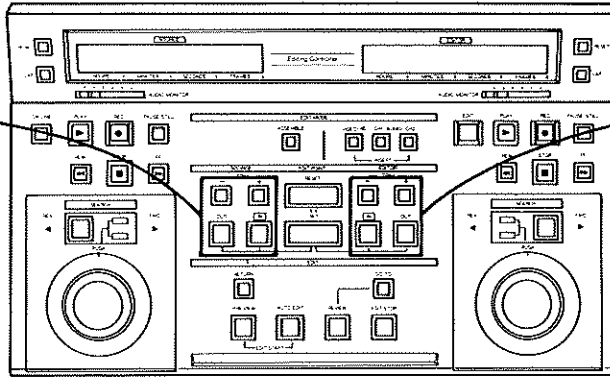
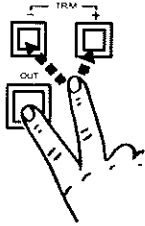
編集開始点を修正するとき

INボタンを押しながら、十ボタンまたは一ボタンで1フレームずつ修正します。



編集終了点を修正するとき

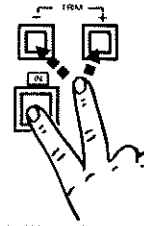
OUTボタンを押しながら、十ボタンまたは一ボタンで1フレームずつ修正します。



エディタ機

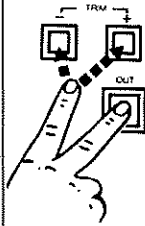
編集開始点を修正するとき

INボタンを押しながら、十ボタンまたは一ボタンで1フレームずつ修正します。



編集終了点を修正するとき

OUTボタンを押しながら、十ボタンまたは一ボタンで1フレームずつ修正します。



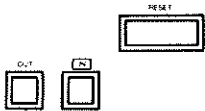
<ご注意>

INボタンまたはOUTボタンを押しても、カウンタに何も表示されていない場合、編集点は登録されていません。

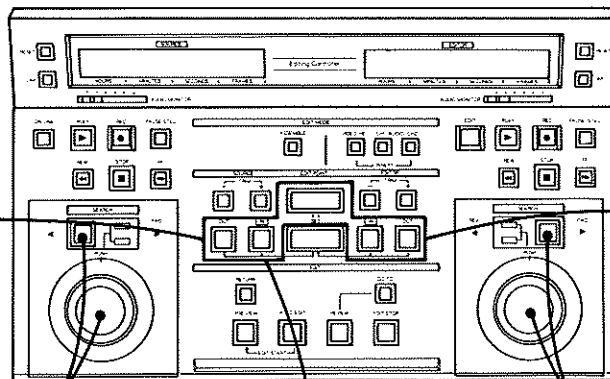
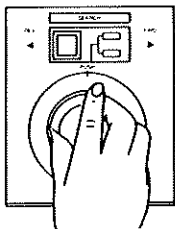
大きい修正

ソース機

編集コントロール部のRESETボタンとINボタン、またはRESETボタンとOUTボタンを同時に押しますと編集開始点、または編集終了点の登録がそれぞれ取消しになります。

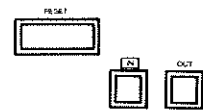


修正したあとは編集する画像をさがしもう一度編集点を登録します。
(13~14ページ参照)



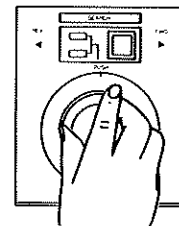
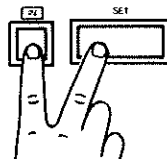
エディタ機

編集コントロール部のRESETボタンとINボタン、またはRESETボタンとOUTボタンを同時に押しますと編集開始点、または編集終了点の登録がそれぞれ取消しになります。



修正したあとは編集する画像をさがしもう一度編集点を登録します。
(13~14ページ参照)

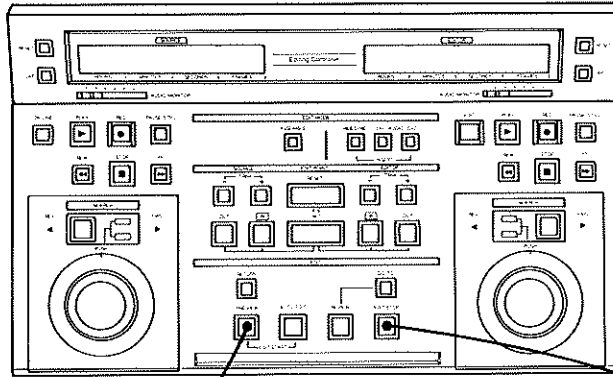
編集点の修正は、登録済のまま、修正する位置をさがし、重ねて再登録することができます。



プレビュー操作

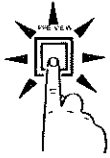
編集を行なう前のリハーサルです。実際に編集する部分は、テープには記録されておりません。

- 編集開始(IN)、終了(OUT)を登録していない場合にも、プレビュー操作は行なえます。しかしプレビュー操作を行ないますと、PREVIEWボタンを押した点がIN点として登録されますが、EDIT STOPボタンを押した点はOUT点として登録されませんのでご注意ください。



プレビュー操作するときは

PREVIEWボタンを押します。



プレビューが終わりますと

PREVIEWランプが消灯します。



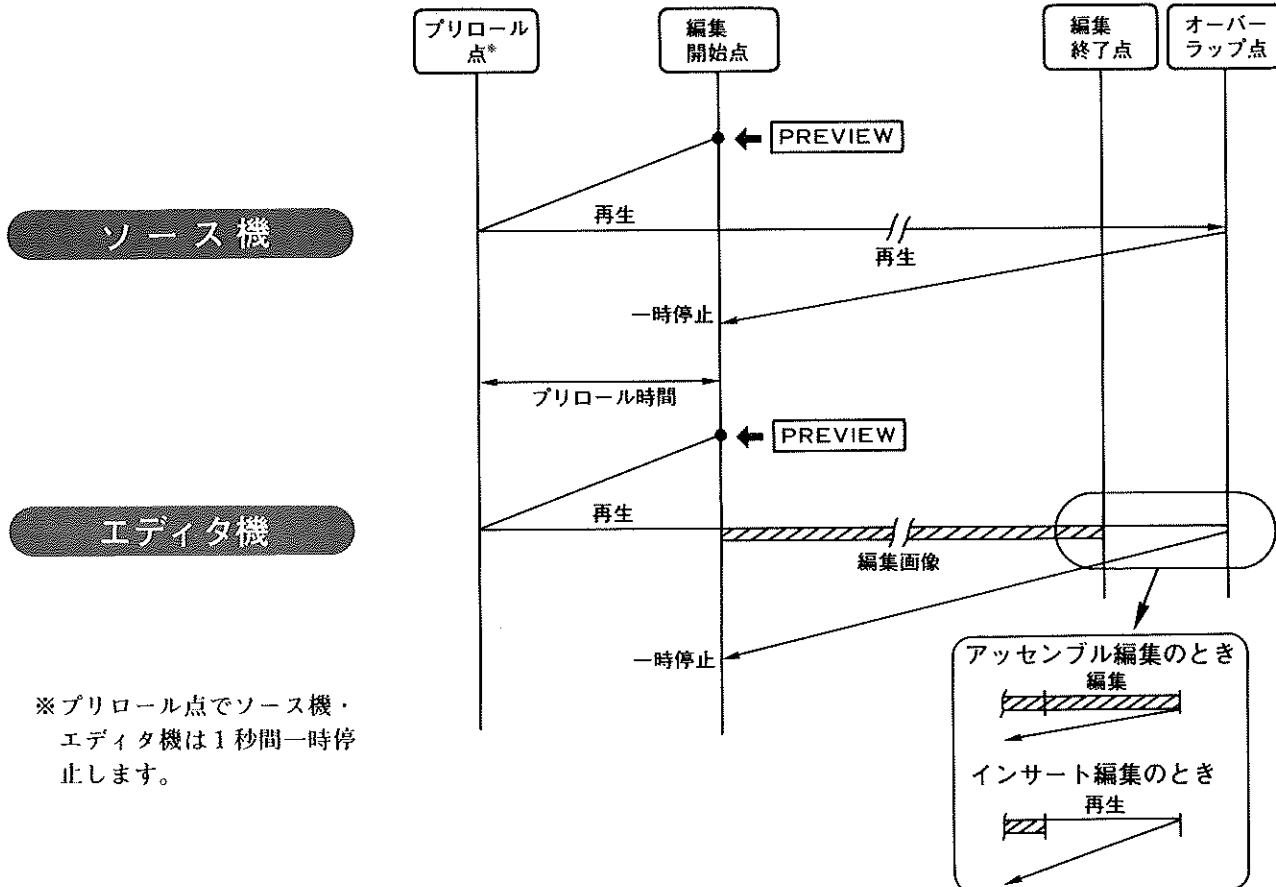
- FLASHINGスイッチが「ON」側のとき、PREVIEWとAUTO EDITランプが点滅します。

途中でプレビュー操作を終えるときは

EDIT STOPボタンを押します。



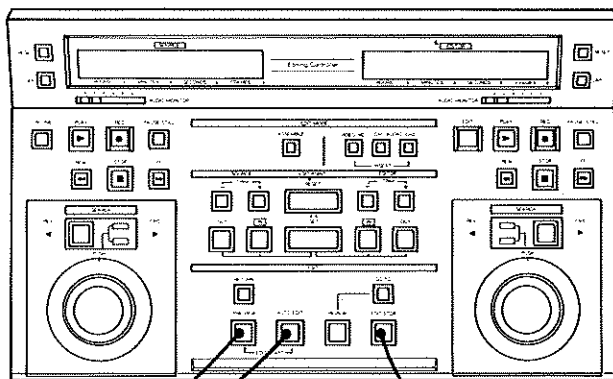
プレビュー開始後のテープの動き



※プリロール点でソース機・エディタ機は1秒間一時停止します。

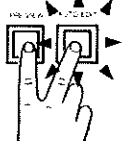
編集を行ないます

- FLASHINGスイッチが「ON」側するとき、PREVIEWとEDIT STARTボタンが点滅しています。
- 編集を実行する前にビデオが一時停止状態であることを確認します。



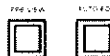
編集するとき

PREVIEWボタンとAUTO EDITボタンを同時に押します。



編集が終了すると

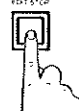
AUTO EDITランプが消灯します。



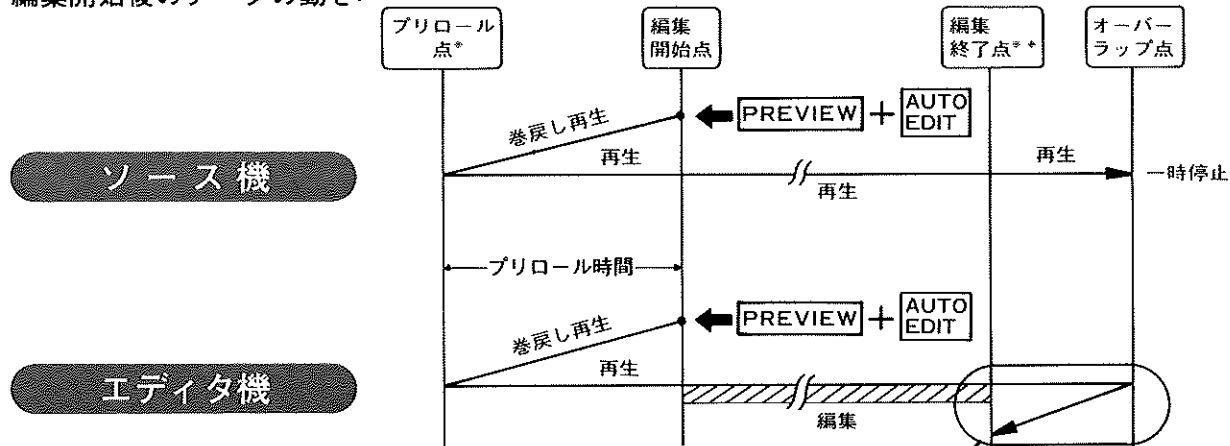
- FLASHINGスイッチが「ON」側
のとき、PREVIEWとAUTO EDIT
ランプが点滅します。

※編集終了点を登録していないときは

モニターテレビの画像をみながら、編集を終了したいところでEDIT STOPボタンを押します。



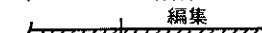
編集開始後のテープの動き。



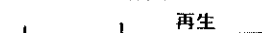
※プリロール点でソース機、エディタ機は1秒間一時停止します。

※※編集終了点を登録していない場合は、EDIT STOPボタンを押してください。押した点が編集終了点となります。

アッセンブル編集のとき



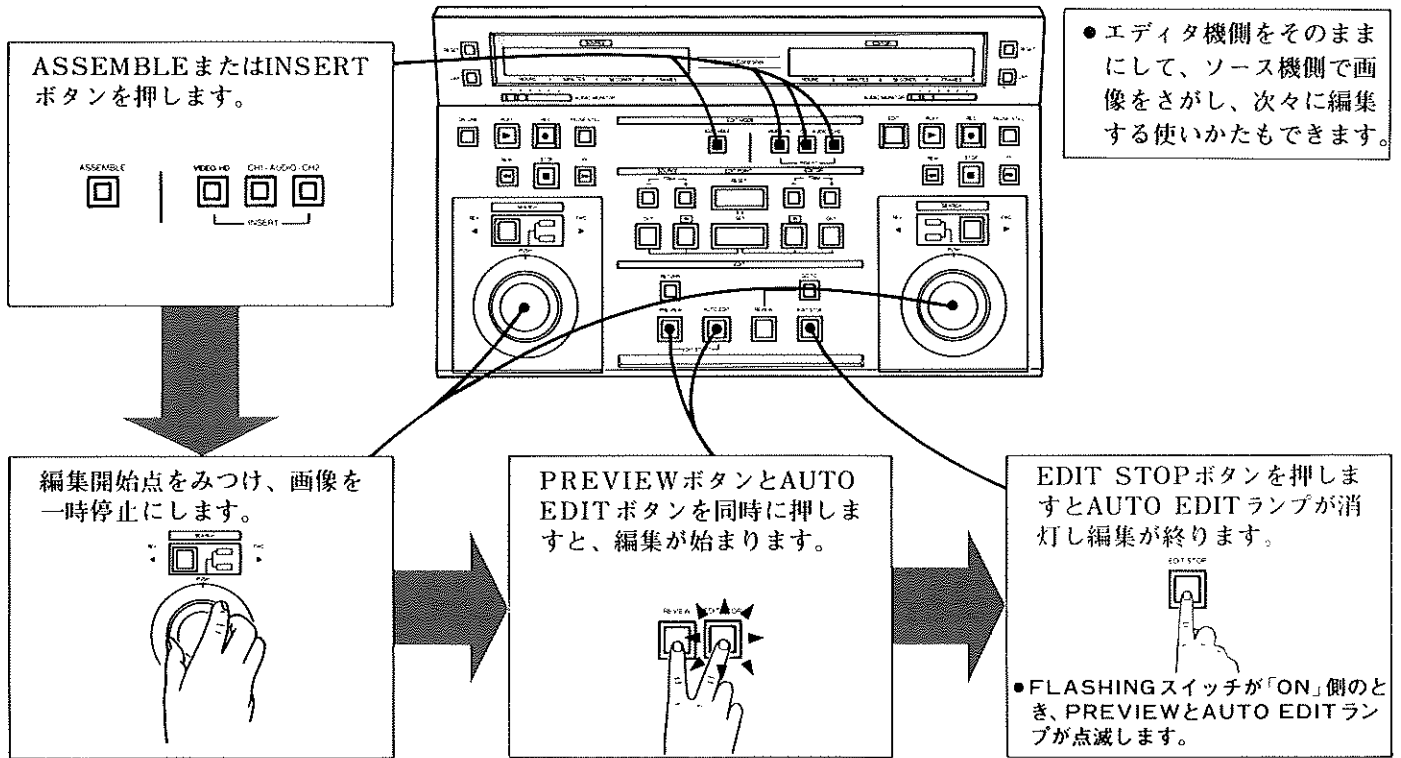
インサート編集のとき



<ご注意>

- 編集中は絶対にビデオのTRACKING調整つまみにさわらないでください。
- プリロール点から編集開始点までのテープ位置にコントロール(CTL)パルスが記録されていない場合、編集は行なわれませんのでご注意ください。

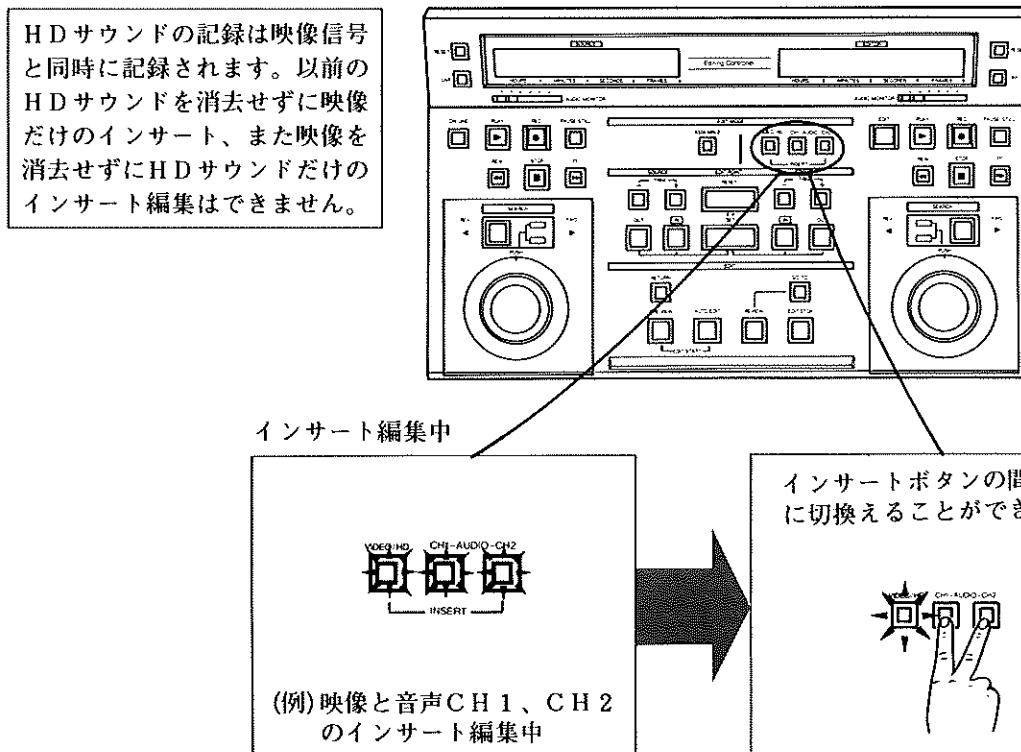
編集開始点を見つけると、ただちに編集するときは



スプリット編集

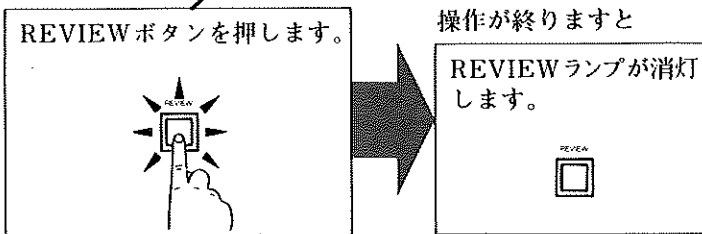
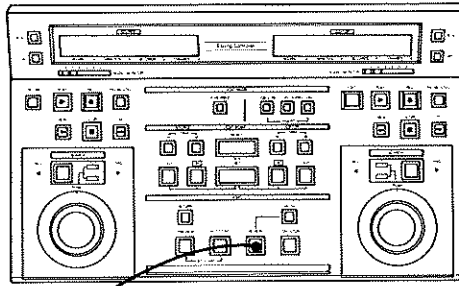
インサート編集中に映像または音声CH1、CH2を切替えて編集を行ないます。

例えば、映像と音声CH1とCH2のインサート編集中に、映像だけに切替えるときはAUDIO CH1とAUDIO CH2ボタンを押してランプを消灯させます。

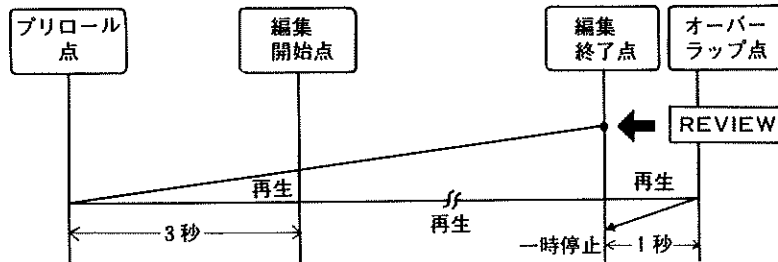


レビュー操作

編集したテープの確認操作です。



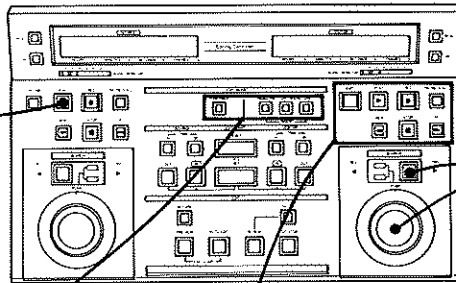
エディタ機



手動編集

ソース機

PLAYボタンを押して再生に
します。

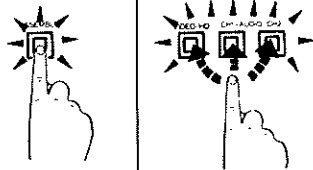


エディタ機

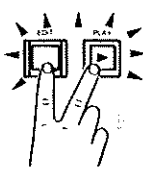
編集開始(IN)点を見つけ、一
時停止にします。

編集モードを選びます。

- アッセンブル
編集
- インサート
編集



EDITとPLAYボタンを同時に押
します。



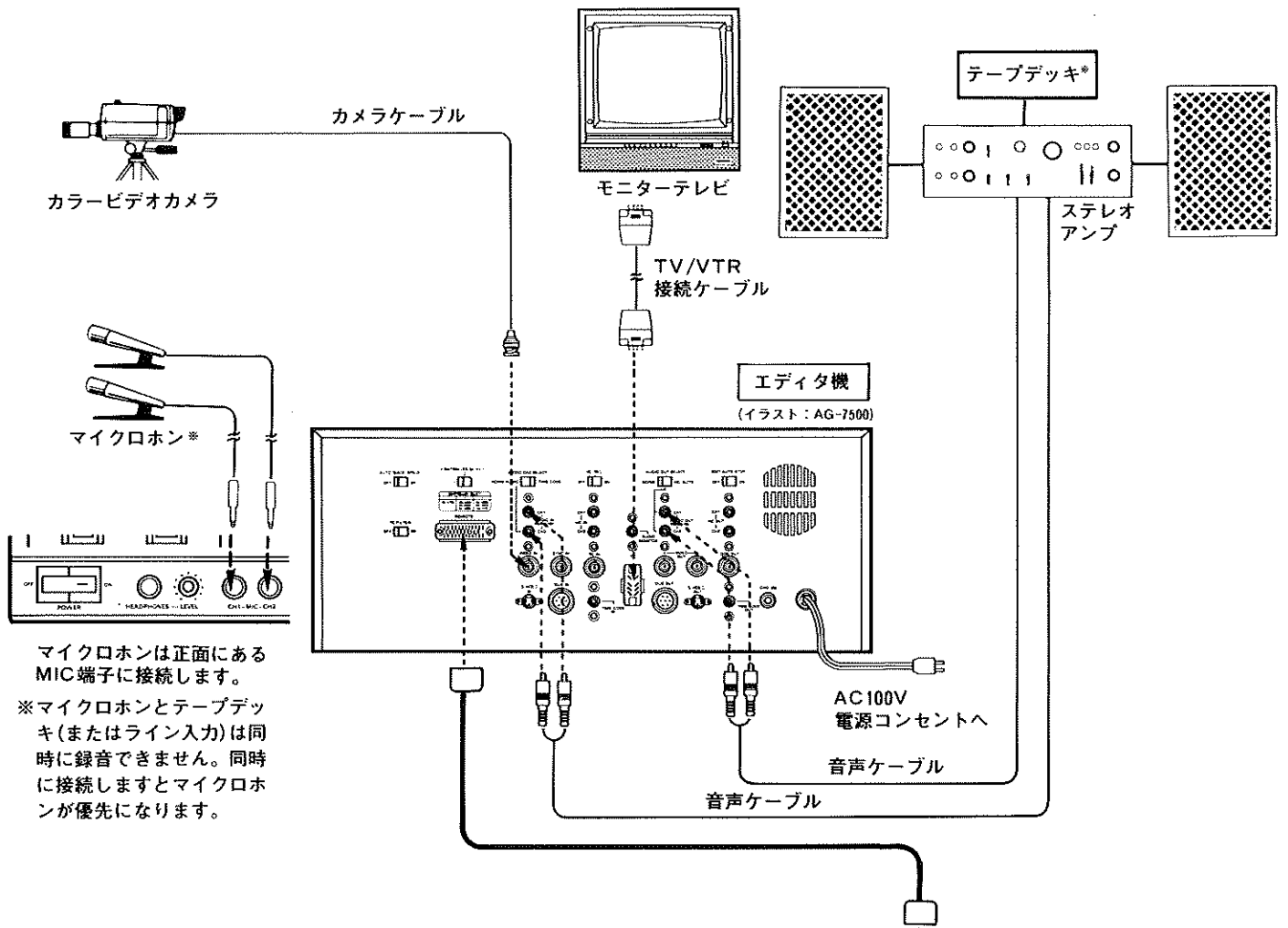
編集を終えるときは

- アッセンブル
編集
PLAYまたは
STOPボタン
を押します。
- インサート
編集
PLAYボタン
を押します。



- ソース機もエディタ機もAG-7500またはAG-6500を使用しているときは、ソース機を一時停止にして編集しますとプリロール動作(約3秒)を行ないません。

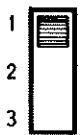
接続



マイクホンは正面にあるMIC端子に接続します。

※マイクホンとテープデッキ(またはライン入力)は同時に録音できません。同時に接続しますとマイクホンが優先になります。

VTR SELECT



エディタ

VTR SELECT		EDITOR	SOURCE
1	1	AG-7500 AG-6500 NV-8500 AG-6300	AG-7500 AG-6500 NV-8500 AG-6300
2	2	AG-6500 NV-8500	AU-700 NV-9600 NV-9240
3	3	AU-700 NV-9600	

接続するビデオレコーダの機種により切換えます。

VTR SELECT



ソース

※NV-9240、AG-6300はエディタ機には使用できません。
※エディタ側“VTR SELECT”スイッチを“1”にして、AG-7500以外のVTRを使用しますと、編集点が8フレーム、誤差がでますので注意してください。

ビデオカメラの準備

- ビデオカメラの電源を入れます。
- ビデオカメラの画像を調整します。(色温度・絞り・ピント・画かく調整等を行ないます。)

詳しくはご使用になっているビデオカメラの取扱説明書をお読みください。

エディタ機の準備

11ページのエディタ機の準備にしたがってスイッチを切換えます。

編集前の調整

12ページのエディタ機の準備にしたがって編集前の調整をします。

ただし、ソース機側の再生のかわりにビデオカメラの信号を確かめてください。

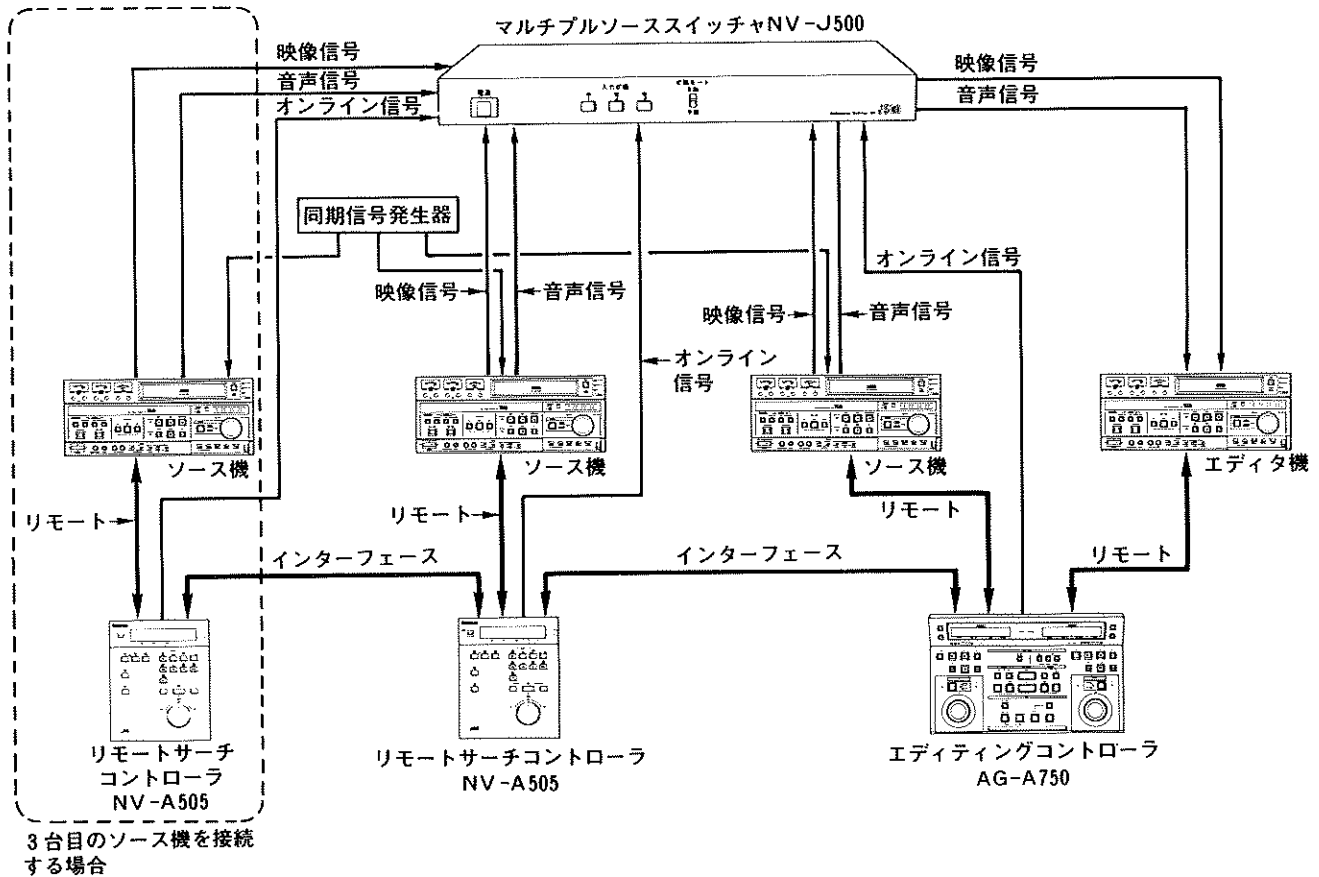
編集

ビデオカメラ編集はアッセンブルとインサートの両方の編集が行なえます。

編集操作は、13～21ページをお読みください。

編集の組みあわせかたⅡ (別売り品を使って)

マルチソーススイッチャNV-J500 (別売り品) を使用する場合



エディティングコントローラAG-A750はソース機1台エディタ機1台という基本の編集システムの他に、マルチソーススイッチャ(NV-J500・別売り品)とリモートサーチコントローラ(NV-A505・別売り品)を使用してソース機2台、または3台の同時接続の編集システムを組みあわせることができます。

この編集システムは、例えばソース機に入れたい録画済テープを1台のソース機だけではなく、2台または3台の中から選んで編集するときや、ソース機2台または3台を同時にスタートさせてテープ編集するなどのバラエティー豊かな編集ができます。

- ソース機を2台または3台の中から選んで編集するというのは

例えば一度接続すれば、ソース機を接続しなおす不便さはありません。

また実際に編集に使っていないソース機の頭出しを他のソース機を使っている間に行なえます。

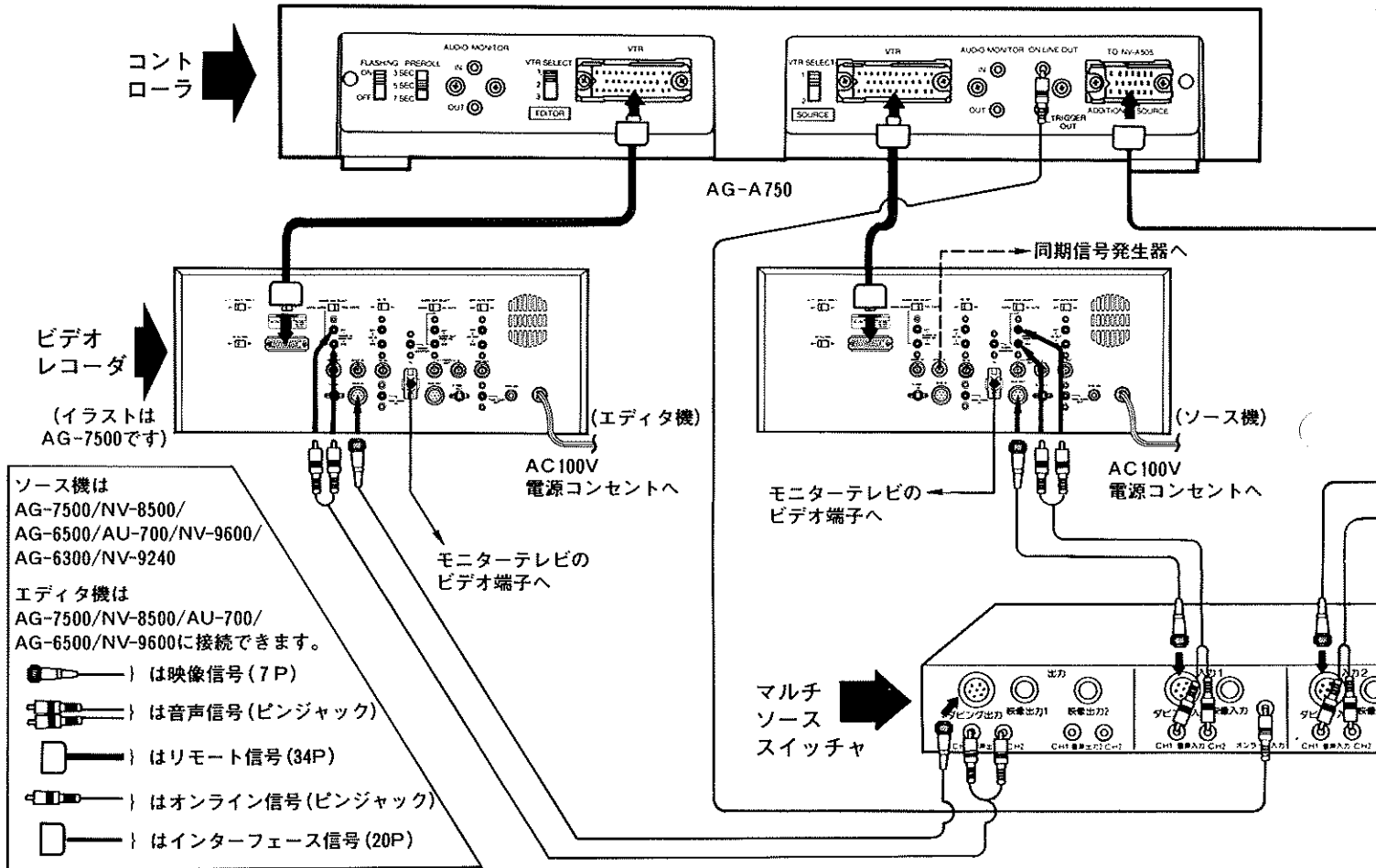
- ソース機を2台または3台を同時にスタートさせてテープ編集するというのは

例えばスタジオ用ビデオカメラを使って、それぞれ角度の違う同一場面を撮影したテープをソース機で同時に再生しながら、マルチソーススイッチャNV-J500の切換えによってソース機を選び、テープ編集を行なうことができます。

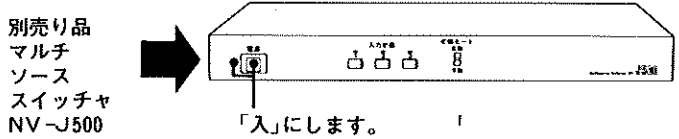
〈ご注意〉

より安定した編集を行なうために同期信号発生器を接続してください。

接続



スイッチの切換え

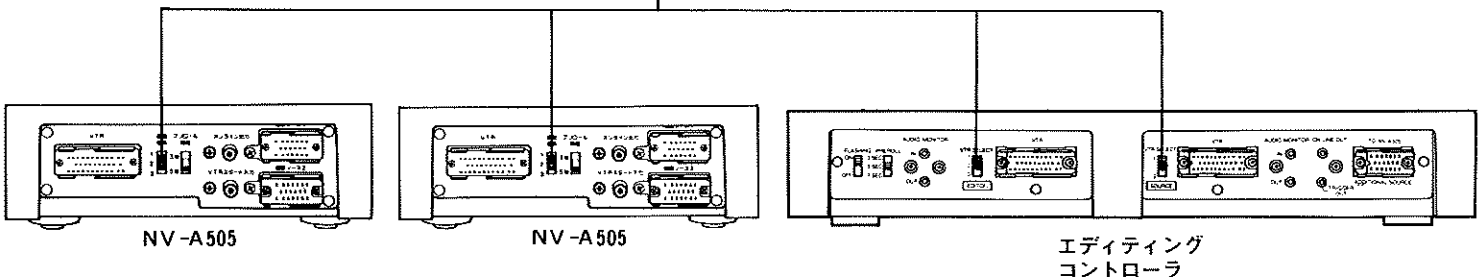


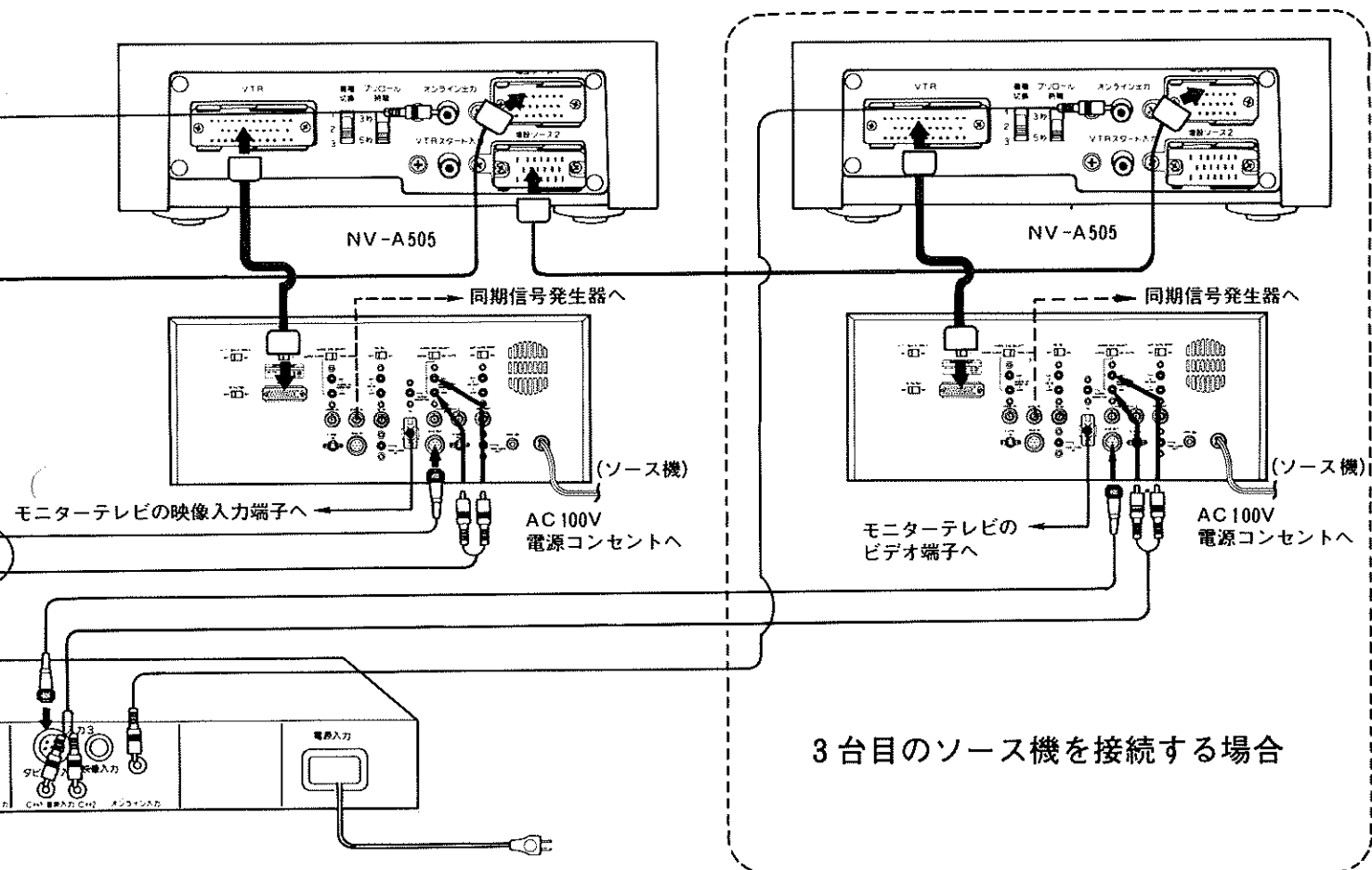
ビデオレコーダ →

ソース機のスイッチ切換えは11ページをお読みください。

エディタ機のスイッチ切換えは11ページをお読みください。

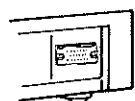
接続機種にしたがって正しく切換えます。



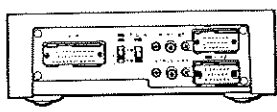


3台目のソース機を接続する場合

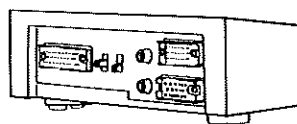
増設ソース端子について



エディティング
コントローラ



(別売り品NV-A505)



(別売り品
NV-A505)

ソース機を2台または3台接続するとき増設ソース1または増設ソース2端子を使用します。コネクタの方向を確かめて正しく接続してください。

映像信号の接続にBNCコネクタ付ケーブルを使用するときは

例えば、ソース機に接続した機種がAG-6300のとき、ソース機、エディタ機ともダビングケーブルは使用できません。BNCコネクタ付ケーブルを使って、入出力側を確かめて正しく接続してください。

ソース機を2台または3台の中から選ぶ場合

マルチソーススイッチャNV-J500 (別売り品)

切換モードスイッチを「手動」にしたとき



ソース機に接続したコントローラのON LINE (オンライン) ボタンを押して全てのオンラインランプを消します。



入力切換ボタンを押して編集に使用するソース機を選びます。



選んだソース機に接続したエディティングコントローラAG-A750またはリモートサーチコントローラNV-A505のON LINE (オンライン) ボタンを押してランプを点灯させます。



切換モードスイッチを「自動」にしたとき



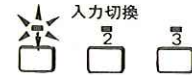
ソース機に接続したコントローラのON LINE (オンライン) ボタンを押して全てのオンラインランプを消します。



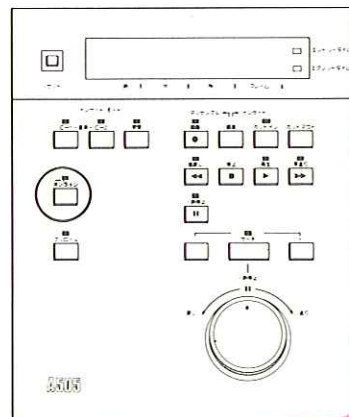
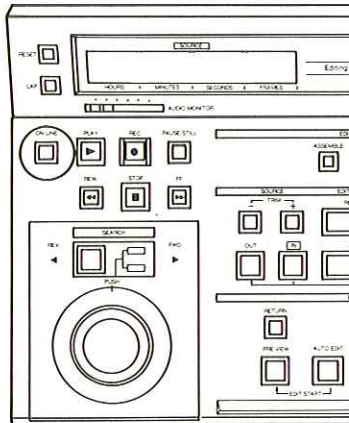
エディティングコントローラAG-A750またはリモートサーチコントローラNV-A505のON LINE (オンライン) ボタンを押して、使用するソース機を選びます。



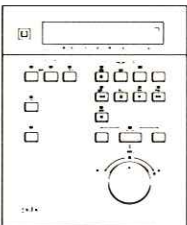
選んだソース機の入力切換ランプが点灯します。



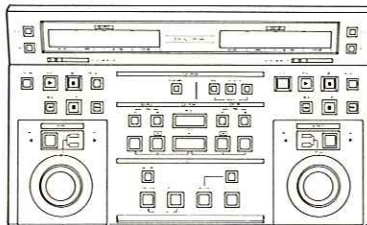
(入力1に接続したソース機を使うとき)



編集する画像をさがすときは



または



リモートサーチコントローラ
NV-A505

エディティングコントローラ
AG-A750

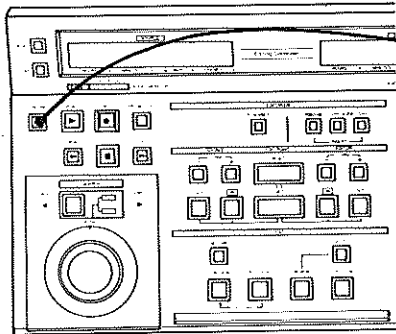
編集操作はソース機1台とエディタ機1台の基本システムと同じです。ただし編集する画像をさがすときはON LINE (オンライン) ランプの点灯しているコントローラ側で行ないます。

編集操作は12~21ページをお読みください。

ソース機を2台または3台同時にスタートさせて編集する場合

〈ご注意〉

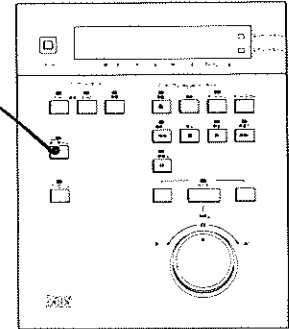
- (1) ソース機側ビデオは、同期信号発生器を使って、共通の外部同期信号で動作させてください。(SYNCスイッチは「EXT」側です。)
- (2) 映像信号はBNCコネクタを使用し、入力信号 (INPUT SELECT) 切換スイッチを「DUB」または「LINE」にしてください。



エディティングコントローラ

ソース機に接続したエディティングコントローラAG-A750およびリモートサーチコントローラNV-A505のON LINE (オンライン) ランプを消します。

ON LINE



リモートサーチコントローラ

エディティングコントローラAG-A750およびリモートサーチコントローラNV-A505のON LINE (オンライン) ボタンを押してランプを点灯させ、同時にスタートさせるソース機を選びます。

ON LINE

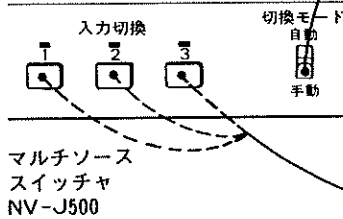


マルチソーススイッチャNV-J500の切換モードスイッチを「手動」にします。

切換モード

自動

手動



マルチソース
スイッチャ
NV-J500

マルチソーススイッチャの入力切換ボタンを押して一番最初に編集するソース機を選びます。

入力切換

1

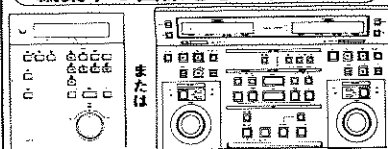
2

3



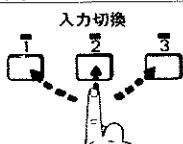
(入力1に接続したソース機を使うとき)

編集する画像をさがすときは



使用するソース機の画像の編集開始点をあわせたのち、編集操作を行ないます。編集操作はソース機1台とエディタ機1台の基本システムと同じです。編集操作は12~21ページをお読みください。

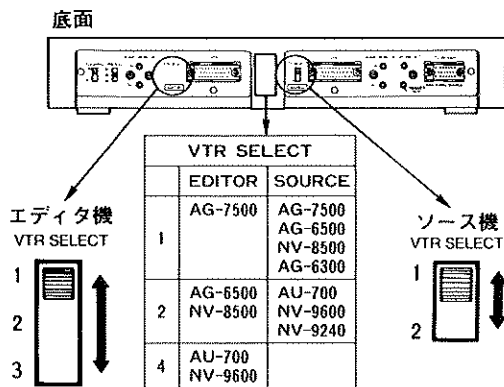
ソース機を切替えるときは



編集中にソース機を切替えるときにはマルチソーススイッチャNV-J500 (別売り品) の入力切換ボタンを押して切替えてください。
※コントロール側のON LINE (オンライン) ランプが点灯していない場合は、入力切換ボタンを押してもソース機の信号は編集されません。

操作ボタン/スイッチの補足説明

機種切替スイッチについて

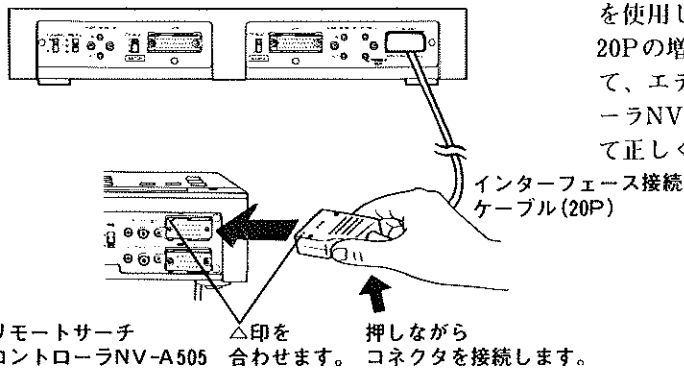


ソース機として使用できる機種は左の表の通り7機種あります。
エディタ機として使用できる機種はAG-7500、AG-6500、NV-8500、AU-700、NV-9600の5機種あります。(NV-9240、AG-6300はエディタ機には使用できません)。

接続する機種にしたがって正しくVTR SELECTスイッチを切換えてください。

※エディタ側“VTR SELECT”スイッチを“1”にして、AG-7500以外のVTRを使用しますと、編集点が8フレーム、誤差がでますので注意してください。

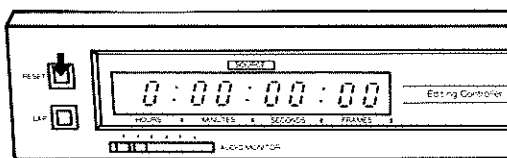
増設ソース端子について



ソース機を2台または3台同時に接続して編集するとき、この端子を使用してください。

20Pの増設用インターフェース接続ケーブル(NV-A505に付属)を使って、エディティングコントローラAG-A750とリモートサーチコントローラNV-A505の増設ソース1に接続しますが、プラグの方向を確かめて正しく接続してください。

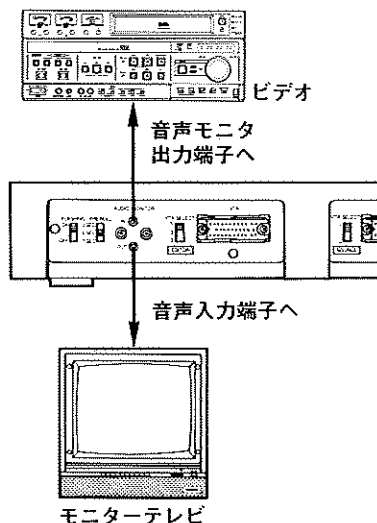
カウンタリセットについて



編集時間が一定のとき、登録済IN点(またはOUT点)をリセット(左図参照)すればOUT点(またはIN点)を簡単にさがすことができます。例えばリセットしたのち、編集時間分だけサーチモードでさがせばOUT点(またはIN点)を容易にみつかることができます。

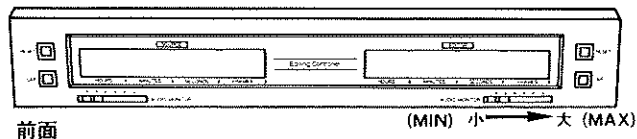
- 登録したIN点(またはOUT点)はカウンタリセットしてもメモリーされています。

音声モニタについて

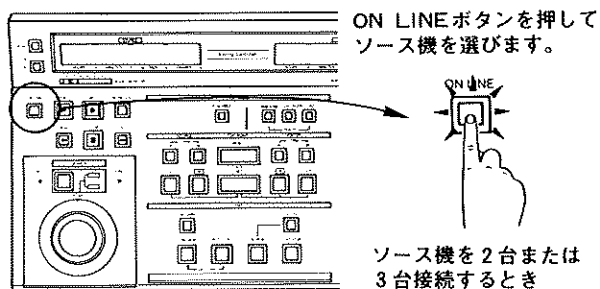


モニターテレビの音量をコントローラ側で調整したいときは後面のAUDIO MONITOR端子をご使用ください。

音量の調整は前面のコントロールボリュームで行なってください。



ON LINE (オンライン) ボタンについて



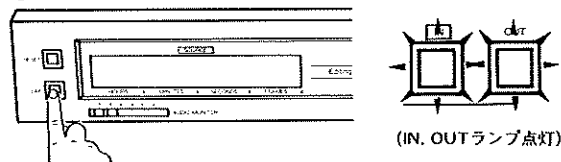
ソース機1台とエディタ機1台の編集基本システム(5ページ参照)のときはこのボタンは使用しません。(ランプは点灯したままです)ソース機を2台または3台接続して編集するときは、どのソース機を使って編集するのか、ソース機を選ばなければなりません。ON LINE (オンライン) ボタンはソース機を選ぶための選択ボタンであると考えてください。

ただし、このボタンを押して一番最後にランプの点灯したソース機が選択されます。

またON LINE ランプが点灯しているコントローラAG-A750またはNV-A505に接続したソース機は、編集が始まると同時にそれぞれ動き出します。これはソース機を同時にスタートさせて、ソース機を切替えながら編集するときに使いますが、ソース機を同時にスタートさせない場合は、使用するソース機だけコントローラAG-A750またはNV-A505のON LINE ランプを点灯させてください。

ラップタイムボタンについて

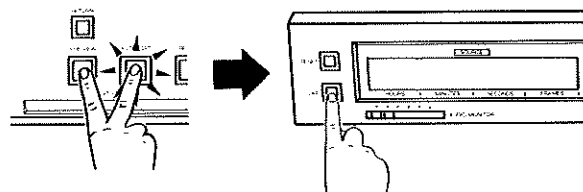
①IN点とOUT点間のラップタイム



LAP ボタンは次のようなときにご使用ください。

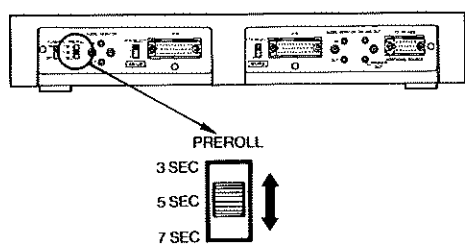
①登録した編集のIN点とOUT点間のラップタイムを知りたいとき、LAP ボタンを押すとカウンタディスプレイにラップタイムが表示されます。

②編集中にIN点からのラップタイム



②編集中にIN点からのラップタイムを知りたいとき、LAP ボタンを押すとラップタイムがカウンタディスプレイに表示されます。テープカウンタ表示に戻すにはもう一度LAPボタンを押します。

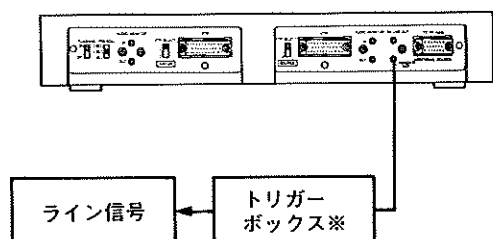
プリロール時間について



編集されたテープのつなぎに画像の乱れが残りますと、上手な編集とはいえません。このため編集する場合、ソース機とエディタ機の同期をあわせておく必要があります。プリロール時間は同期をあわせるための時間と考えてください。時間は3秒、5秒、7秒に切換えることができます。

ソース機を2台または3台接続して編集するときは、当然のことながら同じプリロール時間を選ばなくてはなりません。リモートサーチコントローラNV-A505(別売り品)のプリロール時間切替スイッチを切換える必要はありません。編集するときのプリロール時間は自動的に5秒になります。

トリガー出力について





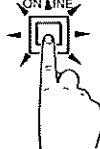
ビデオカメラやテープレコーダ等を使って編集したテープを調べてみて、編集のつなぎのところでもう少し工夫したい場合には、この端子をご利用ください。この端子はプリロールが終ってビデオレコーダが再生を始めると同時に約1秒間、負極性の信号を出力します。

例えばリレー信号で、カメラの被写体に“編集が始まる”と予告ランプを点灯させることや、テープレコーダを自動的にスタートさせるときにご使用ください。

※トリガーボックスはライン入力信号のコントロールスイッチです。ライン信号がスタートできるように工夫してください。

故障かな？と思う前に…ちょっと！

調べられてもなお異常のあるときは、ただちに接続機器の電源スイッチを「切」にし、必ず電源プラグを持ってコンセントから抜いたのち、お求めの購入店にご連絡ください。

<p>操作ボタンを押すと「ブザー」が鳴る。</p>	<p>プレビューまたは編集ができない。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ● 編集操作に手続きの間違いがあります。例えば編集モードを選ばないで編集点をメモリーしようとした場合などにブザーが鳴ります。もう一度正しく編集操作を行なってください。  <p>編集操作を正しく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 接続は正しいですか。例えば入力と出力を正しく、またプラグやコネクタを外れないように接続してください。  <ul style="list-style-type: none"> ● ビデオレコーダやコントローラのスイッチの切り換えは正しいですか。例えばテープ編集のとき、INPUT 切換スイッチは「LINE」または「DUB」になっていますか。
<p>カウンタの表示がかわらない。</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ● テープにコントロール(CTL)信号が記録されていません。CTL 信号が記録されていればカウンタは働きます。 	<ul style="list-style-type: none"> ● エディタ機に入れたカセットテープにツメまたは赤いボタンがついていますか。
<p>ジョグができない。</p>	<p>VHS ビデオレコーダ 3/4 インチビデオレコーダ</p>
<ul style="list-style-type: none"> ● 接続しているビデオが AG-7500 または AG-6500 以外 のときにはジョグモードは動作しません。 	
<p>LAP ボタンを押すとカウンタは 0 になったり、表示がでないときがある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● テープは終端になっていませんか。例えばエディタ機のテープは終端になっていませんか。 ● 使用するソース機に接続したコントローラの ON LINE が点灯していますか。
<ul style="list-style-type: none"> ● 編集の開始点と終了点の登録がなければカウンタには表示はできません。 ● 編集の開始点だけ登録しているときはカウンタは 0 表示になったり、テープ位置を移動させれば開始点からの位置を表示します。 ● 編集の終了点だけ登録しているときはカウンタには表示はできません。 	 <ul style="list-style-type: none"> ● ビデオレコーダの露付き表示ランプまたはオートオフランプが点灯していませんか。
<p>編集点の登録ができない。</p>	<p>ソース機の同時スタートを行なうときマルチソーススイッチ AN V-J500 (別売り品) での入力切換えができない。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ● ビデオが一時停止になっていますか。 ● 編集の開始点より終了点の位置が後になっていますか。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 切換モードスイッチが「手動」になっていますか。

定 格

■電 源：DC12V (ビデオレコーダより供給)
■消 費 電 力：約6W

■コントロール部

ソ ー ス 機 側 の み：ON LINE (オンライン)
エディタ機側のみ：EDIT (編集)
ソース機側/エディタ機側とも：REC (録画)、FF (早送り)、PLAY (再生)、REW (巻戻し)、STOP (停止)、
PAUSE/STILL (一時停止/静止)、SEARCH (サーチ)、

■編集コントロール部

編 集 モ ー ド：ASSEMBLE (アッセンブル)、INSERT VIDEO/AUDIO CH 1 /CH 2 (インサート)
編 集 点 ・ 修 正：SET (セット)、IN (編集開始)、OUT (編集終了)、RESET (リセット)、+、-
(ソース機側/エディタ機側とも)
編 集 コ ン ト ロ ー ル：PREVIEW (プレビュー)、AUTO EDIT (編集)、EDIT STOP (編集終了)、
REVIEW (レビュー)、RETURN (リターン)、GOTO (ゴーツー)

■カウンタディスプレイ部

(ソース機/エディタ機とも)

タ イ ム 表 示：最大±9時間59分59秒29フレーム
ラ ッ プ タ イ ム 表 示：最大9時間59分59秒29フレーム

■コネクタ部

リ モ コ ン 端 子：34P
増 設 ソ ー ス 端 子：20P
オ ン ラ イ ン 出 力 端 子：オープンコレクタ出力、負極性 入：10mA以下、切：DC12V以下
音 声 モ ニ タ ー 入 力 端 子：-20dBv、47k Ω
音 声 モ ニ タ ー 出 力 端 子：-20dBv、4.7k Ω (1Vrms=0dBv)
ト リ ガ ー 出 力 端 子：オープンコレクタ出力、負極性 入：10mA以下、切：DC12V以下、パルス幅：1秒

■接 続 可 能 ビ デ

オ：基本システム：AG-7500
条件システム：AG-6300、AG-6500、NV-8500、AU-700、NV-9600、NV-9240

■接 続 可 能 台

数：ソ ー ス 機：最大3台まで (2台以上はリモートサーチコントローラNV-A505、
マルチソーススイッチャNV-J500使用時)
エディタ機：1台

■編 集 精

度：±2フレーム(ソース機、エディタ機ともAG-7500使用時)

■プ リ 口 ー ル 時

間：3秒、5秒、7秒(切換)

■許 容 周 囲 温

度：5℃~40℃

■許 容 相 対 湿

度：35%~80%

■外 形 寸

法：390(幅)×90(高さ)×243(奥行)mm

■重

量：約2.3kg

■付 属

品：34Pリモコン接続ケーブル(2本)

※※※※部分は安全項目です。

松下電器産業株式会社
オーディオ・ビデオシステム事業部

〒571 大阪府門真市松葉町 2 番15号 ☎(06)901-1161